

令和5年8月29日（火）

オンライン開催

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム
第7回会合

山口労働局・山口県

会議次第

議題

- 1 「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領」の改正及び「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」の改訂について
- 2 令和4年度における「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」KPI進捗状況結果報告について
- 3 令和5年度における「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」KPI進捗状況について
- 4 令和5年度「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援」事業について（山口労働局委託事業）
- 5 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業（実施主体山口県）について
- 6 就職氷河期世代に対する支援の取組事例の情報共有について
 - (1) 学校法人Y I C学院
 - (2) 経済産業省 中国経済産業局
- 7 意見交換

配付資料一覧

【やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム第7回会合】

○ レジューメ、出席者名簿

- 資料1 「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領」の改正及び「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」の改訂について
- 資料2 令和4年度における「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」KPI進捗状況結果報告について
- 資料3 令和5年度における「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」KPI進捗状況について
- 資料4 令和5年度「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援」事業について（山口労働局委託事業）
- 資料5 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業（実施主体山口県）について
- 資料6 就職氷河期世代に対する支援の取組事例の情報共有について

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム 第7回会合 出席者名簿

| 区分 | 構成員 | | | 備考 |
|------|-----------------------------|----------|--------------|----|
| | (機関・団体名) | (役職) | (氏名) | |
| 経済団体 | 山口県経営者協会 | 専務理事 | 阿野 徹生 | |
| | 山口経済同友会 | 事務局長 | 黒瀬 邦彦 | |
| | 山口県商工会議所連合会 | 常務理事 | 中川 章 | |
| | 山口県商工会連合会 | 専務理事 | 藏藤 共存 | |
| | 山口県中小企業団体中央会 | 専務理事 | 坂本 竜生 | |
| 労働団体 | 日本労働組合総連合会 山口県連合会 | 事務局長 | 中元 直樹 | |
| 支援機関 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 山口支部 | 支部長 | 松本 孝 | |
| | 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 | 専務理事 | 小野 嘉孝 | 欠席 |
| 市町 | 山口県市長会 | 事務局長 | 本多 昭洋 | |
| | 山口県町村会 | 事務局長 | 本多 昭洋 | |
| 行政 | 経済産業省 中国経済産業局 地域経済部 産業人材政策課 | 課長 | 宅見 幸一 | |
| | 山口労働局 | 職業安定部長 | 徳富 久士 | |
| | 山口県産業労働部 | 労働政策課長 | 山崎 直和 | |
| | 山口県健康福祉部 | 主幹 主事 | 清水 徹 米本 涉 | |

| | | | |
|--------|-------------|---------------|-------|
| オブザーバー | 学校法人Y I C学院 | 社会事業本部 本部長 | 宮本 直志 |
|--------|-------------|---------------|-------|

| | | | |
|-----|---------------|--------------|--------|
| 事務局 | 山口労働局職業安定部訓練室 | 訓練課長 | 永岡 英憲 |
| | | 室長補佐 | 岡野 正明 |
| | | 就職支援コーディネーター | 水津 睦美 |
| | 山口県産業労働部労働政策課 | 調整監 | 佐小 千恵美 |
| | | 主任主事 | 山縣 宏美 |
| | 山口県健康福祉部健康増進課 | 主事 | 三好 慶輔 |

- 1 「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領」の改正
及び「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」の改訂について

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領

1 趣旨

「就職氷河期世代支援に関する新行動計画 2023」（令和4年12月27日就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省庁会議決定。）における基本的考え方等を踏まえ、山口県内の関係機関や団体を構成員とし、県内の就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成するとともに、活躍支援策のとりまとめ、進捗管理等を統括する「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「やまぐちPF」という。）を、令和4年度までの「第一ステージ」に続き、令和5年度からの「第二ステージ」においても設置する。

2 構成員

やまぐちPFの構成員については、行政機関、経済団体、労働団体等の別紙1の機関を構成員とする。

また、必要に応じて、就職氷河期世代の方の支援に取り組んでいる企業や団体等を、オブザーバーとして、参加させることができる。

3 各構成員の役割

上記2の構成員の役割は、下記のとおりとする。

（1）行政側

- ① 山口労働局（~~訓練課~~）（~~訓練室~~）
 - ・やまぐちPFとりまとめ事務局（主担当）
 - ・事業実施計画の策定とりまとめ、事業の進捗管理（主担当）
 - ・管内市町のプラットフォーム（以下「市町PF」という）との連絡調整
 - ・各種支援策の周知広報
- ② 山口県（~~産業労働部労働政策課~~）（~~商工労働部労働政策課~~）
 - ・やまぐちPFとりまとめ事務局（副担当）
 - ・事業実施計画の策定とりまとめ、事業の進捗管理（副担当）
 - ・市町PFとの連絡調整
 - ・各種支援策の周知広報
- ③ 山口県（健康福祉部健康増進課）
 - ・市町PFとの連絡調整

- ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者のニーズの把握
- ・ 市町ＰＦと連携しての先進的な取組に係る事例の把握と展開
- ・ 各種支援策の周知広報
- ④ 就労支援機関（ハローワーク、山口しごとセンター）
 - ・ 専門窓口・専門チームによる就職支援
 - ・ 企業説明会・面接会の開催や職場実習・体験機会の確保
 - ・ 企業に対する処遇改善の働きかけ、専門求人の確保
 - ・ 各種支援策の周知広報
 - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
- ⑤ 中国経済産業局
 - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
 - ・ 各種支援策の周知広報
- ⑥ 山口県市長会、山口県町村会
 - ・ 各種支援策の周知広報
- (2) 経済団体、労働団体等
 - ・ 企業に対する、就職氷河期世代を対象とした求人募集、積極的な採用、企業説明会・面接会への参画や職場実習・体験機会の確保の働きかけ
 - ・ 企業に対する人材育成の充実や正規雇用化を含む処遇改善の働きかけ
 - ・ 就職氷河期世代の就労や社会参加に向けた相談支援
 - ・ イベントや会報等での各種支援策等の周知広報
 - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
- (3) 支援機関（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山口支部、山口県社会福祉協議会）
 - ・ 公的職業訓練（ハロートレーニング）の充実
 - ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者への支援の充実
 - ・ 各種支援策の周知広報
 - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案

4 やまぐちＰＦにおける取組事項

やまぐちＰＦにおいては、次に掲げる事項について協議を行い、各構成員における取組を促進することとする。

- (1) 気運醸成と各種支援策の周知広報

就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成し、各界が一体となって、積極的な採用、正規雇用化を含む処遇改善や社会参加への支援に結びつくような環境整備を図る。

また、就職氷河期世代本人やそのご家族等に対し、各構成員が有する様々なルートを通じて各種支援策の周知広報を図る。

(2) 支援対象者の把握

地域ごとに支援の対象となる以下の3種類の者に係る支援ニーズを把握する。

- ① 不安定な就労状態にある者
- ② 長期にわたり無業の状態にある者
- ③ 社会参加に向けた支援を必要とする者(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

(3) 目標、KPI(重要業績評価指数)の設定及び事業実施計画の策定

- ① 山口県におけるKPIについては、適切なものを検討の上設定する。
- ② KPIを達成するために、事業実施計画を策定する。
- ③ 計画に基づく実施事業の進捗管理を行う。

(4) 市町との連携

市町PFの事務局と連絡調整を図り、以下の事項に係る市町PFとの情報共有と広域的課題の対応を行う。

- ・福祉から受け入れ先の開拓、雇用にあたって必要な配慮等、県レベル経済団体への対応依頼
- ・経済団体、他の市町村等とのつながり作りの支援
- ・市町PFの好事例の周知等

5 会議の開催

上記4に掲げる事項の協議を行うために、年2回を目安に会議を開催することとするが、この他必要に応じて開催することもできるものとする。

6 秘密の保持

PFの構成員及び協議の場に参加した者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(附則)

この要領は、令和2年8月28日から施行する。

令和3年5月20日 一部改正

令和4年2月16日 一部改正

令和5年2月14日 一部改正

令和5年〇月 〇日 一部改正

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員

| 区分 | 構成員 (機関・団体名) |
|------|------------------------------|
| 経済団体 | 山口県経営者協会 |
| | 山口経済同友会 |
| | 山口県商工会議所連合会 |
| | 山口県商工会連合会 |
| | 山口県中小企業団体中央会 |
| 労働団体 | 日本労働組合総連合会 山口県連合会 |
| 支援機関 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 山口支部 |
| | 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 |
| 市 町 | 山口県市長会 |
| | 山口県町村会 |
| 行 政 | 経済産業省 中国経済産業局 地域経済部 産業人材政策課 |
| | 山口労働局 |
| | 山口県産業労働部 山口県商工労働部 |
| | 山口県健康福祉部 |

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン

令和2年8月

令和5年〇月改訂

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム

目次

| | |
|---|----|
| 1. 趣旨 | 1 |
| 2. やまぐち支援プランの計画期間及び進捗管理 | 2 |
| 3. 支援対象者 | 2 |
| 4. 山口県の現状と支援の方向性 | 3 |
| 5. 目標、KPI及び取組 | 4 |
| (1)不安定な就労状態にある方 | 4 |
| (2)長期にわたり無業の状態にある方 | 6 |
| (3)社会参加に向けた支援を必要とする方 | 8 |
| (4)全支援対象者共通の取組 | 10 |
| 6. やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと 市町プラットフォームとの連携 | 10 |
| 7. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施 | 10 |

1. 趣旨

バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期(概ね 1993 年(平成5年)~2004 年(平成 16 年)に就職活動を行った、いわゆる「就職氷河期世代」は、現在、30 代半ばから 40 代後半(令和2年4月1日現在、大卒で概ね 38 歳~49 歳、高卒で概ね 34 歳~45 歳)に至っている。その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けて支援を必要とする状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。また、こうした課題に直面している方々の多くは、概して能力開発機会が少なく、企業に評価される職務経歴も積めていない、就職活動の度重なる失敗により自分に自信が持てない、現状維持が精一杯で今後の展望を抱けない、正社員を諦めているなど、就職活動に当たって様々な課題を抱えている。

こうした状況を踏まえ、就職氷河期世代への支援は喫緊の課題であることから、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」(令和元年6月 21 日閣議決定)において就職氷河期世代の活躍促進に向けて3年間の集中的な支援に取り組む方針が打ち出された。さらに「経済財政運営と改革の基本方針 2022」(令和4年6月7日閣議決定)において、令和4年度までの3年間の集中取組期間を「第一ステージ」と捉え、令和5年からの2年間を「第二ステージ」と位置づけ、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効率的な支援を実施し、成果を積み上げる旨の方針が定められた。

この方針に向けた施策の具体化を図るため、「就職氷河期世代支援に関する新行動計画 2023」(令和4年 12 月 27 日付け就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議決定。以下「行動計画」という。)が策定されているところである。

山口県においては、行動計画に基づき、県内の関係機関(経済団体、労働団体、支援機関、市町、行政)を構成員とし、県内の就職氷河期世代の活躍支援策をとりまとめ、進捗管理等を統括する「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」(以下「やまぐちPF」という。)を令和4年度までの「第一ステージ」に続き、令和5年度からの「第二ステージ」においても設置する。

また、やまぐちPFにおいて「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」(以下「やまぐち支援プラン」という。)を策定し、就職氷河期世代の方々が活躍の場を更に広げるために、県内の社会気運を醸成し、好事例の横展開を図りつつ、各界が一体となって、やまぐち支援プランに基づく各取組を継続的に推進していくこととする。

2. やまぐち支援プランの計画期間及び進捗管理

やまぐち支援プランの計画期間は、令和2年8月28日～令和7年3月31日までとする。
やまぐち支援プランの着実かつ効果的な推進を図るため、個々の取組や進捗状況をやまぐち PF 事務局にて把握するとともに、取組の進捗を踏まえた今後の施策展開の方向性等を協議するため、毎年度やまぐち PF 設置要領の5に規定する会議を開催し、内容を公表する。なお、その進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画内容を見直すこともあり得る。

3. 支援対象者

やまぐち支援プランにおいては、次の①～③に掲げる方々を支援対象者とする。支援に当たっては、就労を希望される方には正社員化及び正社員就職の実現を目指すものであるが、個々人の希望や意欲・能力に応じた雇用形態や待遇の実現及び社会参加へ向けた支援が図られることや、①～③の類型にかかわらず各支援機関が連携して取り組むことが重要である点に留意する必要がある。

①不安定な就労状態にある方

- ・正規雇用を希望しながら非正規雇用で働いている方
- ・前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する失業中の方など

②長期にわたり無業の状態にある方

- ・無業で家事も通学もしていない方のうち、就職などに向けた取組への意欲が認められる方など

③社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

- ・ひきこもりの状態にある方、生活困窮に陥っている方など、就労支援だけでなく、保健医療や福祉的な支援を必要としている方

4. 山口県の現状と支援の方向性

総務省の「就業構造基本統計調査(2017年)」を基にした推計¹によると、山口県内における支援対象者の現状については、①不安定な就労状態にある方 3,700人、②長期にわたり無業の状態にある方 3,399人と推計している。③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者個人ごとに抱える事情や状態が異なり、必ずしもただちに就労に向かうことが本人にとって望ましいとは限らず、就労支援の対象として数量的にとらえることにそもそもなじまないことから推計対象としていないが、今後、やまぐち支援プランの期間内で支援対象者のニーズを明らかにしていくこととする。

これらの方々の当面の目標は、働くことや社会参加など多様であり、また生活の基盤を置く地域の実情も多様であることから、個々人の状況に応じた支援メニューを積極的に届けていかなければならない。そのためには、当事者やその家族の置かれている状況やニーズをしっかりと受け止めるという姿勢を社会全体に浸透させるよう取り組んでいくことが不可欠である。

支援対象者である「不安定な就労状態にある方」、「長期にわたり無業の状態にある方」、「社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)」は明確に区分できない場合も想定され、その状態も時とともに変化していくものであることから、当事者とその家族を中心とした柔軟な支援を行うためには、関係機関が連携して、多様で複合的な課題やニーズに対応する必要がある。

これらを踏まえ、就労や処遇の改善、社会参加を促す中で、必要な人に必要な支援が届く体制を構築することなどに、やまぐちPFのみならず、他の関係機関とも連携して取り組んでいくこととする。

¹ 資料出所：総務省「就業構造基本統計調査(2017年)」

JILPT「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③」

・「不安定な就労状態にある方」：現在非正規雇用で働いており「現職の雇用形態についている理由」について「主に正規の職員・従業員の仕事がないから」と答えた者

・「長期にわたり無業の状態にある方」：無業者のうち求職活動をしていない者で、卒業者かつ通学していず、配偶者なしで家事を行っていない者。就業構造基本統計調査の公表値ではないため、JILPTが特別集計したデータを利用している。

5. 目標、KPI²及び取組

(1) 不安定な就労状態にある方

【目標】

正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について現状よりも良い処遇を目指すため、支援対象者の正規雇用者数を 2,040 人³(第一ステージ)、4,000 人(第二ステージまでの累計)増やすことを目標とする。

【KPI】

| 項目 | KPI |
|-----------------------|---------|
| ハローワーク紹介による正社員就職件数 | 3,745 件 |
| キャリアアップ助成金活用による正社員転換数 | 1,376 人 |
| 山口しごとセンター利用者における就職決定数 | 808 人 |

【取組】

(相談体制の充実)

ハローワーク宇部に「キャリアアップ応援コーナー(就職氷河期世代専門窓口)」を設置し、専門担当者で構成するチームによる個別支援によるマッチングの促進及び職場定着を図る。

【山口労働局】

専用窓口を設置しないハローワーク相談窓口にて、相談者が就職氷河期世代対象者であるか判断を行い、対象者に関しては助成金をはじめとする積極的な支援に対応できる体制を組み、多様なニーズにあわせた就職支援を行う。

【山口労働局】

国と県の業務を一体的に実施する「山口しごとセンター」において、専任のキャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリングから就職支援サイト等による情報提供、職業紹介、就職後のフォローアップまでのサービスをワンストップで提供する。

【山口労働局、山口県】

² KPI： 重要業績評価指標 (Key Performance Indicator) の略。目標の進捗を把握するための指標。

³ 2,040 人： 総務省「就業構造基本統計調査 (2017 年)」等より
「不安定な就労状態にある方」山口県 3,700 人 / 全国 541,700 人 $\times 100 \div 0.68\%$
30 万人 (国の目標) $\times 0.68\% = 2,040$ 人 (山口県の 3 年間の目標)

(職業訓練の実施・強化、スキルアップ支援)

「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」の支援対象者個々大
のニーズに応じた情報提供、アドバイス及びあっせんを行う。

【山口労働局】

離職者、求職者、在職者それぞれのニーズに対応し、安定就労に有効な職業能力
等の習得を目指す公的職業訓練(ハロートレーニング)の実施等によるスキルアップ
や新たなキャリアへの挑戦を支援する。

なお、訓練コース等の設定に当たっては、正社員就職のために資する内容とする
よう配慮する。

【山口労働局、山口県、独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構】

(就職、正社員への転換支援)

支援対象者に対するマッチングイベント(企業の説明会、就職面接会、職場体験、
職場見学、セミナー等)を開催(後援・共催を含む)する。

【山口労働局、山口県、中国経済産業局】

特定求職者雇用開発助成金(就職氷河期世代安定雇用実現コース)、キャリアア
ップ助成金等の企業支援策周知に努め、その活用による就職氷河期世代の正社員
就職及び正社員転換を促進する。

【山口労働局】

就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支
援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)、マッチングイベント等
への取組について、業界団体や企業等へ要請する。

【山口労働局、山口県】

企業における就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、
職場定着支援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組
を促進する。また、取組に必要な施策の提案を行う。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、
山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

就職氷河期世代を対象とした正社員化を含む処遇改善等に係る働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会山口県連合会】

(2) 長期にわたり無業の状態にある方

【目標】

就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション(以下「サポステ」という。)を中心とし関係機関と連携した職業的自立支援につなげることを目標とする。

【KPI】

| 項目 | KPI |
|--|---------|
| サポステにより実施した相談件数(福祉機関等への出張相談や関係機関からの依頼を受けての相談を含む) | 8,275 件 |
| サポステの支援により就職等 ⁴ につながった件数 | 607 件 |

【取組】

(相談体制の充実)

サポステの支援対象年齢を 39 歳までから 49 歳までに拡大するなど相談体制を整備する。

また、福祉関係機関等への出張相談において支援対象者を把握するとともに、支援対象者個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援につなげる。

【山口労働局、山口県】

(就労に向けた支援)

支援対象者に対するカウンセリングや職場体験、各種セミナーの開催等により、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

【山口労働局、山口県】

長期にわたり無業の状態にある方に係る就職等支援など、受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について、業界団体や企業等へ要請を行う。

【山口労働局、山口県】

⁴ 就職等： 「雇用保険被保険者資格を取得し得る就職」、「雇用保険被保険者資格が取得できない就職だが、資格を取得し得る就職に向けてサポステの支援が継続される就職」及び「公的職業訓練の受講」を指す。

長期にわたり無業の状態にある方に係る就職等支援など、企業における受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等の取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をやまぐち PF に提案する。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

働き方改革やワーク・ライフ・バランスの普及啓発等を通じ、多様な働き方の推進を図る。

【山口労働局、山口県】

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

【目標】

当事者やその家族の希望に応じ、市町における居場所の整備、その他対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりが生まれることを目標とする。

【KPI】

| 項 目 | KPI |
|----------------------|----------|
| 就労準備支援事業実施福祉事務所 | 15 福祉事務所 |
| ひきこもりの方等の相談窓口の明確化・周知 | 19 市町 |

【取組】

(ニーズの把握)

相談内容の分析などにより、社会参加に向けた支援を必要とする方のニーズを把握する。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

(相談支援体制の充実)

社会参加に向けた支援を必要とする方やその家族が、お住まいの地域で容易に相談できる環境を整備するために、市町での相談窓口を明確化した上で、広報等により住民への周知を図る。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

ひきこもり地域支援センターが、市町の窓口や関係機関に対する専門的なアドバイスをを行うとともに、ひきこもり状態にある方やその家族への取組を支援する。

【山口県】

各市町福祉事務所が実施する生活困窮者就労準備支援事業の取組に関する助言、情報提供を行う。

【山口県】

(相談支援に係る人材の育成、資質向上)

自立相談支援機関の相談支援員の資質向上のための養成研修やひきこもり地域支援センターによる支援者向けの研修会などにより、支援に係る人材の育成、資質の向上を図る。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

(職場体験・見学、就労に向けた支援)

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備について、業界団体や企業等へ要請を行う。

【山口労働局、山口県】

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備に係る取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をやまぐち PF に提案する。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会山口県連合会】

(4)全支援対象者共通の取組

【取組】

市町レベルのプラットフォーム(以下「市町 PF」という。)を形成し、支援に係る関係者間の情報共有を行う。また、市町 PF の活動活性化のため、好事例の横展開などの積極的な協力をを行う。

【山口労働局、山口県】

やまぐち PF の取組や活動等について、市町や各団体の構成企業・団体等に積極的に周知・啓発を行うことにより、社会全体で就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る。

【全構成員】

支援対象者一人ひとりに各種施策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、あらゆる手段(メディア、SNS、WEB、イベント開催等)を活用し、家族、関係者も含め効果的に伝わる周知・広報策を展開する。

【全構成員】

6. やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと市町プラットフォームとの連携

やまぐちPFは、市町PFの効果的かつ円滑な運営のために、市町PFからの支援要請に対して適切に対応するとともに、好事例等の就職氷河期世代支援に関する情報についてはこれを共有し、双方緊密な連携を図ることとする。

7. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施【別表】

【別表】

山口県における地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

| 実施主体 | 事業名 |
|------|----------------------|
| 山口県 | 山口しごとセンター管理運営費 |
| 山口県 | 地域若者サポートステーション機能強化事業 |
| 山口県 | 雇用のセーフティネット強化事業 |
| 山口県 | 女性デジタル人材育成事業 |
| 山口県 | 県外キャリア人材確保応援事業 |

【参考】

市町における地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

| 実施主体 | 事業名 |
|------|--------------------|
| 宇部市 | 就職氷河期世代キャリアアップ支援事業 |

2 令和4年度における「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」KPI 進捗状況結果報告について

【ポイント】

(進捗結果)

○多くの項目で当初の3年間KPI達成率が100%以上となっており、事業はおおむね順調に進んだ。今後2年間は、第2ステージとして新たなKPIの達成に向けて取り組む。

(課題)

○「サポステの支援により就職等※につながった件数」については、3年間KPI達成率が62.3%と低調となった。

(※「就職等」には、「雇用保険被保険者資格を取得し得る就職」、「雇用保険被保険者資格が取得できない就職だが、資格を取得し得る就職に向けてサポステの支援が継続される就職」及び「公的職業訓練の受講」を指す。)

(改善に向けての取組)

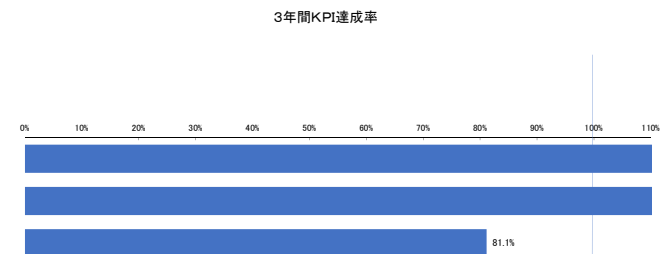
○昨年度に引き続き、サポステとハローワークとが連携した支援を行う。
○主に就職氷河期世代を対象としたセミナー及び企業説明会・面接会において、新たなサポステ利用者の獲得及びサポステ利用者の就職に向けた機会となるよう、開催方法を工夫する。

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プランKPI進捗管理表

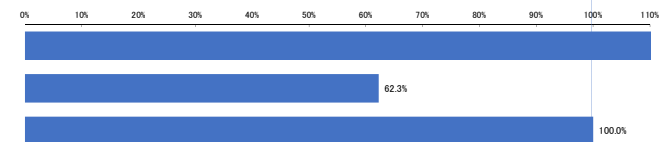
※2022年度3月末現在

| ①不安定な就労状態にある方 | 目標 | KPI | | | | |
|----------------|------------------------|---------|-----------|--------|--------|--------|
| | 項目 | 3年間KPI | 3年間KPI達成率 | 実績 | | |
| | | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
| 正規雇用者数を2,040人増 | | | | | | |
| | ●ハローワーク紹介による正社員就職件数 | 1,800 件 | 166.5% | 892 件 | 1065 件 | 1040 件 |
| | ●キャリアアップ助成金活用による正社員転換数 | 700 人 | 145.1% | 320 人 | 305 人 | 391 人 |
| | ●山口しごとセンター利用者における就職決定数 | 514 人 | 81.1% | 161 人 | 134 人 | 122 人 |

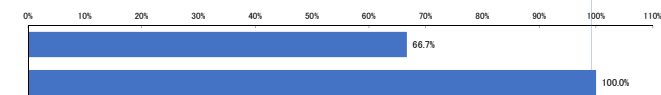
※山口しごとセンター利用者における就職決定数は正規雇用者の数。



| ②長期にわたり無業の状態にある方 | 目標 | KPI | | | | |
|---|------------------------|---------|-----------|---------|---------|---------|
| | 項目 | 3年間KPI | 3年間KPI達成率 | 実績 | | |
| | | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
| 地域若者サポートステーションを中心に関係機関と連携した職業的自立支援につなげる | | | | | | |
| | ●サポステによる相談件数 | 4,500 件 | 126.5% | 1,593 件 | 1,899 件 | 2,202 件 |
| | ●サポステの支援により就職等につながった件数 | 546 件 | 62.3% | 94 件 | 95 件 | 151 件 |
| | ●サポステと地域の関係機関との連携体制の強化 | 19 市町 | 100.0% | 8 市町 | 11 市町 | 市町 |



| ③社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など) | 目標 | KPI | | | | |
|---|-------------------|--------|-----------|--------|--------|--------|
| | 項目 | 3年間KPI | 3年間KPI達成率 | 実績 | | |
| | | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
| 市町に居場所の整備、対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりをつくる | | | | | | |
| | ●就労準備支援事業実施福祉事務所 | 15 箇所 | 66.7% | 7 箇所 | 1 箇所 | 2 箇所 |
| | ●ひきこもりの方等の相談窓口の整備 | 19 市町 | 100.0% | 11 市町 | 2 市町 | 6 市町 |



| ④全支援対象者共通 | 目標 | KPI | | | | |
|-------------------------|-----------------|--------|-----------|--------|--------|--------|
| | 項目 | 3年間KPI | 3年間KPI達成率 | 実績 | | |
| | | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
| 就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る | | | | | | |
| | ●県内全市町での市町PFの設置 | 19 市町 | 100.0% | 9 市町 | 10 市町 | 市町 |



令和4年度における「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」KPIの進捗結果

| 支援対象者 | 目標 | 結果 |
|--------------------|---|--|
| ①不安定な就労状態にある方 | 正規雇用者数を2,040人増加させる (3,014件の正規雇用者数) | ○県と連携し取組を進めた結果、正規雇用者数は4,430件と3年間KPI達成率(147.0%)と4年度の目標を達成した。 |
| ②長期にわたり無業の状態にある方 | 地域若者サポートステーションを中心に関係機関と連携した職業的自立支援につなげる | <p>○3年間KPIの達成率は62.3%と目標を下回った。その要因としては、サポステ利用者においては、相談を重ねていくものの、なかなか、就職活動に踏み出せず、就職するまでの期間が長い利用者が増えていることが挙げられる。</p> <p>ただし、令和4年度は151件(令和2年度94件、令和3年度95件)と大幅に増加した。困難事例にも対応できるような職員スキルの向上、多様な広報の実施、コロナが落ち着いたことによる職場見学や体験の制限緩和、利用者の来所相談の増加などが主な要因です。</p> <p>これに加え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポステ職員がハローワークに出張しサポステの実施する支援内容の説明を実施 ・ハローワーク職員がサポステに出張し職業訓練説明会を実施 ・サポステ職員による職業訓練施設の見学等の取組を実施した。 |
| ③社会参加に向けた支援を必要とする方 | 市町に居場所の整備、対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりをつくる | <p>○「ひきこもりの方等の相談窓口の整備」については、県内の全ての市町において、他の相談と共通のひきこもり相談窓口が整備され、目標を達成することができた。</p> <p>今後は、市町における相談窓口を明確化し、広報等により住民への周知を図る。</p> <p>「就労準備支援事業実施福祉事務所」については、令和4年4月1日に2福祉事務所が事業開始し、目標の3分の2となった。</p> <p>引き続き、未実施福祉事務所に対し、国の示す実施案の周知や県内の取組事例の紹介等により事業実施に向けた働きかけを行う。</p> |
| ④全支援者共通 | 就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る | ○令和3年度までに、県内全市町(19市町)にプラットフォームを設置し、目標を達成した。 |

3 令和5年度における「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」 KPI進捗状況について

【ポイント】

(進捗状況～令和5年6月末現在)

| | |
|---------------------|----------|
| ① 不安定な就労状態にある方 | : 74.0% |
| ② 長期にわたり無業の状態にある方 | : 79.8% |
| ③ 社会参加に向けた支援を必要とする方 | : 80.1% |
| ④ 全支援対象者共通 | : 100.0% |

※各項目の達成率を単純平均した数値

(取組状況)

○5年間KPIの達成率は83.5%と平均ではおおむね順調である。

「②長期にわたり無業の状態にある方」に対する「サポステの支援により就職等につながった件数」については、達成率64.6%であるものの、サポステによる取組みの強化や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の鎮静化により、就職活動の制約が緩和されたことから、令和4年度以降実績が好調である。

このため、5年度はこれまでの取組を継続することとするが、それに加え、昨年度も実施した、就職氷河期世代を対象とした「セミナー」と「企業説明会・面接会」に改良を加え実施する。

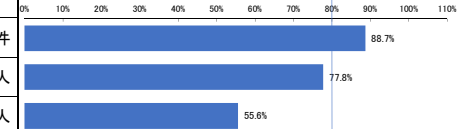
やまぐち就職氷河期世代活躍支援プランKPI進捗管理表

※2023年度6月末現在

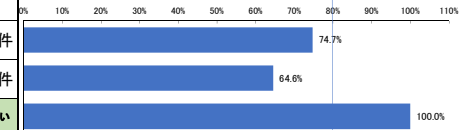
| ①不安定な就労状態にある方 | 目標 | KPI | | | | | | | |
|----------------|------------------------|---------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 項目 | 5年間KPI | 5年間KPI達成率 | 実績 | | | | | |
| | | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | |
| 正規雇用者数を3,745人増 | | | | | | | | | |
| | ●ハローワーク紹介による正社員就職件数 | 3,745 件 | 88.7% | 892 件 | 1065 件 | 1040 件 | 325 件 | 件 | 88.7% |
| | ●キャリアアップ助成金活用による正社員転換数 | 1,376 人 | 77.8% | 320 人 | 305 人 | 391 人 | 54 人 | 人 | 77.8% |
| | ●山口しごとセンター利用者における就職決定数 | 808 人 | 55.6% | 161 人 | 134 人 | 122 人 | 32 人 | 人 | 55.6% |

※山口しごとセンター利用者における就職決定数は正規雇用者の数。

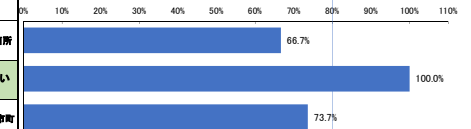
5年間KPI達成率



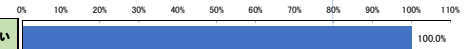
| ②長年にわたり無業の状態にある方 | 目標 | KPI | | | | | | | |
|---|------------------------|---------|-----------|---------|---------|---------|-------------------|--------|--------|
| | 項目 | 5年間KPI | 5年間KPI達成率 | 実績 | | | | | |
| | | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | |
| 地域若者サポートステーションを中心に関係機関と連携した職業的自立支援につなげる | | | | | | | | | |
| | ●サポステによる相談件数 | 8,275 件 | 74.7% | 1,593 件 | 1,899 件 | 2,202 件 | 489 件 | 件 | 74.7% |
| | ●サポステの支援により就職等につながった件数 | 607 件 | 64.6% | 94 件 | 95 件 | 151 件 | 52 件 | 件 | 64.6% |
| | ●サポステと地域の関係機関との連携体制の強化 | 19 市町 | 100.0% | 8 市町 | 11 市町 | 市町 | 目標達成の為、新たな設定は行わない | | 100.0% |



| ③社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など) | 目標 | KPI | | | | | | | |
|---|-----------------------|--------|-----------|--------|--------|--------|-------------------|--------|--------|
| | 項目 | 5年間KPI | 5年間KPI達成率 | 実績 | | | | | |
| | | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | |
| 市町に居場所の整備、対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりをつくる | | | | | | | | | |
| | ●就労準備支援事業実施福祉事務所 | 15 箇所 | 66.7% | 7 箇所 | 1 箇所 | 2 箇所 | 0 箇所 | 箇所 | 66.7% |
| | ●ひきこもりの方等の相談窓口の整備 | 19 市町 | 100.0% | 11 市町 | 2 市町 | 6 市町 | 目標達成の為、新たな設定は行わない | | 100.0% |
| | ●ひきこもりの方等の相談窓口の明確化・周知 | 19 市町 | 73.7% | 市町 | 市町 | 市町 | 14 市町 | 市町 | 73.7% |



| ④全支援対象者共通 | 目標 | KPI | | | | | | |
|-------------------------|-----------------|--------|-----------|--------|--------|--------|-------------------|--------|
| | 項目 | 3年間KPI | 3年間KPI達成率 | 実績 | | | | |
| | | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | | |
| 就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る | | | | | | | | |
| | ●県内全市町での市町PFの設置 | 19 市町 | 100.0% | 9 市町 | 10 市町 | 市町 | 目標達成の為、新たな設定は行わない | 100.0% |



4 令和5年度における「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援」事業について（山口労働局委託事業）

【ポイント】

（1）就職氷河期世代向けセミナー及び企業説明会・面接会の開催

- セミナー回数の増加（R4：4会場→R5：8会場）。
- マンダラチャートを作成する形式のセミナーの実施。講話を聴くだけでなく、ワークショップ型とすることで参加者が主体的に関われるようにし、自身の目標を整理する。その際、参加者のスムーズな理解を促し、ワークに参加しやすいよう、ファシリテーターによる支援を行う。
- セミナーと企業説明会・面接会の同日開催により、就職への行動意識を持続させた状態で次の活動に結び付ける。
- 同時に、ハローワークによる職業相談や若者サポートステーションによる適職診断などの職業準備に関する相談を実施。その際にも、ファシリテーターによる、
 - ・サポステ利用者には企業説明会、面接会、ハローワーク相談への誘導
 - ・サポステ未利用者にはサポステ相談への誘導
 を行い、次のステップへの移行あるいは必要な支援を受けられるようにする。
- 参加企業を氷河期世代対象の職場実習・体験（見学）の受け入れ可能な企業とし、就職氷河期世代とマッチングしやすい設定とする。

| 開催地域 | 開催日 |
|------|--------|
| 萩 | 8月30日 |
| 岩国 | 10月20日 |
| 山口 | 11月1日 |
| 徳山 | 11月13日 |
| 下関 | 11月29日 |
| 柳井 | 12月13日 |
| 下松 | 1月19日 |
| 防府 | 1月23日 |

※ハローワーク宇部では、就職氷河期世代支援のための専門窓口を設置しており、

独自に開催を予定している。

(2) 「ぽかぽか未来実現サイト」(ホームページ)のリニューアルによる効果的な活用による周知

- 「ぽかぽか未来実現サイト」(ホームページ)を一部リニューアルし、ユーザーのニーズに合ったサイトにすることで、新規ユーザーの増加や再訪問増加につなげる。

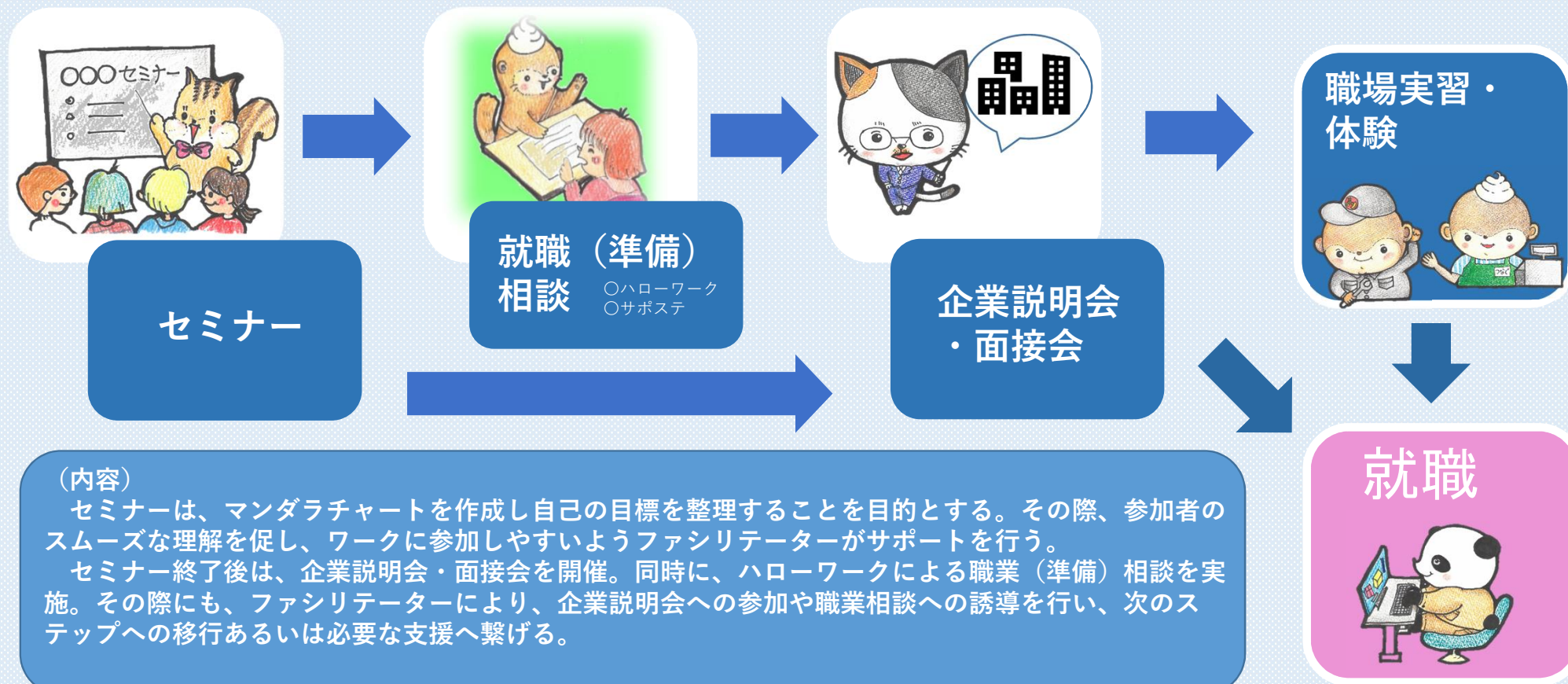
(3) ディスプレイ広告やSNS広告(LINE 広告)等を利用し、ターゲットを絞った周知、広報を行う

- 【通年実施】
 - ・ Google リスティング広告
- 【イベントの約2週間前から実施】
 - ・ Google トップページへのディスプレイ広告
 - ・ LINE 広告(リターゲティング広告)
 - ・ 地域情報紙への掲載
 - ・ Twitter (X) への広告掲載

(4) 企業採用担当者に向けた周知・広報

- 就職氷河期世代向け企業説明会等の参加を募る際、職場実習等受入を併せて依頼する。

1 就職氷河期世代向けセミナー及び企業説明会等の開催



2

②「ぽかぽか未来実現サイト」（ホームページ）のリニューアルによる効果的な周知

③インターネット広告やSNS広告（LINE広告）等を利用し、ターゲットを絞った周知・広報を行う

<ターゲット>

<方法>

全世代

- ・Twitter (X)
- ・ディスプレイ広告
- ・リスティング広告

氷河期
世代

LINE 広告

再配信

親世代

紙媒体広告
戸別配布型フリーペーパー

企業採用
担当

職場実習受入開拓時等

誘導

専用サイト

一部リニューアル



リターゲティング広告
(広告クリック者へ再配信)

(内容)

事業の周知・広報の為、ターゲット別に効果的な広報ツールを用いて、専用サイトへ誘導する。
サイトについては、直帰率低下、再訪問率増加を狙い一部リニューアルを行う。



あしたを拓く人を創る
厚生労働省 人材開発統括官

令和5年度キャリア形成・学び直し支援センター事業
(本事業は厚生労働省より株式会社パソナが運営を受託しています)

わたしのキャリアが未来につながる



採用
マッチング

人材育成
人事評価

モチベーション
アップ

生涯を通じたキャリア形成と能力開発で、
人と組織の活性化を総合的に支援する



キャリア形成
学び直し支援センター

厚生労働省委託事業

社員一人ひとりに対するキャリアコンサルティングを無料※で活用できます!

※本事業は、国の予算の範囲内で実施するため、一定の上限等があります。キャリアコンサルティングが無料となる対象については、キャリア形成・学び直し支援センター事業までお問合せください。

※本事業は「令和5年度キャリア形成・学び直し支援センター事業」として株式会社パソナが厚生労働省より受託し運営しています。

詳しくはWEBから

<https://carigaku.mhlw.go.jp/>



貴社ではこのような課題を抱えていませんか？

- 若手社員の主体性・積極性を高め、定着を促進したい
- 育児・介護休職を活用した社員の復職支援をしたい
- 中堅社員のモチベーションを高める施策を打ちたい
- 企業戦略として従業員の学び直し支援をしたい

キャリア形成と能力開発の課題解決に向けて キャリア形成・学び直し支援センターがサポートします！

採用・マッチング

履歴書だけでは理解しにくい
応募者の強み、キャリアの方向性、
職業能力を理解しやすくなります！

人材育成・人事評価

社員一人ひとりの
効果的な職業能力開発はもちろん
人事評価も可能になります！

モチベーションアップ

将来のありたい姿や目標が明確になるため、
能力開発への意欲や働きがいを醸成し
定着を促進する効果が期待できます！

ジョブ・カードやセルフ・キャリアドックを活用し、キャリアコンサルティングを行いながら、
学び・学び直しを含めたキャリア形成と職業能力開発を総合的に支援します。

また雇用型訓練の導入支援も承ります。

社員

- 生涯を通じた
キャリア・プランニング
- 自己理解の促進
- 職業能力の棚卸
- 学び・学び直しの
支援



支援



キャリア形成 学び直し支援センター

厚生労働省委託事業

支援

会社

- 採用強化
- マッチング向上
- 人材育成 ●人事評価
- モチベーションアップ
- 定着促進



ジョブ・カード

個人のキャリアアップや、多様な人材の円滑な就職等を促進することを目的とした「生涯を通じたキャリア・プランニング」及び「職業能力証明」のツールです。

セルフ・キャリアドック

キャリアコンサルティングと多様なキャリア研修等を組み合わせ、企業内で体系的・定期的に従業員のキャリア形成を支援する「仕組み」です。

キャリアコンサルティング

従業員の職業選択、職業生活設計、職業能力の開発・向上等に対して、専門のキャリアコンサルタントが相談に応じ、助言や指導を行います。

ご利用の 流れ



お問合せ

まずはお気軽に、お近くのキャリア形成・学び直し支援センターまでお問合せください。



ヒアリング

センターの担当者より、貴社のご要望や課題等をお聞きます。



ご提案

ヒアリング内容を基に、貴社の現状、ご要望等に応じた導入プランを策定し、ご提案します。



実施

ジョブ・カードやキャリアコンサルティング、セルフ・キャリアドックの導入等を実施します。

お問合せ



山口キャリア形成・学び直し支援センター

〒754-0021 山口市小郡黄金町2-21 スクエア新山口 2F

☎ 083-902-6470 (平日9:00~17:30) ✉ carigaku_yamagu@pasona.co.jp

詳しくはWEBから <https://carigaku.mhlw.go.jp/>





仕事に充実感と働きがいを育む

キャリア コンサルタントに 相談しませんか?

前向きに仕事に取り組めるようになる!

自分の役割・強みが明確になる!

将来の展望や働きがいに気づく!

雇用形態を問わず、
ジョブ・カードを活用した
キャリアコンサルティングが
無料で
受けられます。



今の職場でモチベーションを
高めて力を発揮したい…



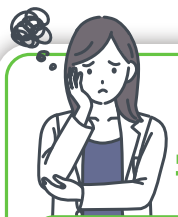
大切にしている価値観や意味に
気づき、モチベーションを
高めるヒントが得られます。



子育てや介護と仕事の
両立に悩んでいる…



育児・介護などの家庭と
仕事とのバランスのとり方、
働き方が明確になります。



将来のキャリアに向けて
学び直しの必要性を感じている…



今までのキャリアを振り返り
将来の見通しを立てることができ、
学び直しの方向性が明確になります。



セカンドキャリアに向けて
目指す方向を考えたい…



管理職定年や再雇用後のキャリア
ビジョンを描くことで、前向きに
仕事に取り組むヒントがつかめます。

キャリアコンサルタントにご相談ください。

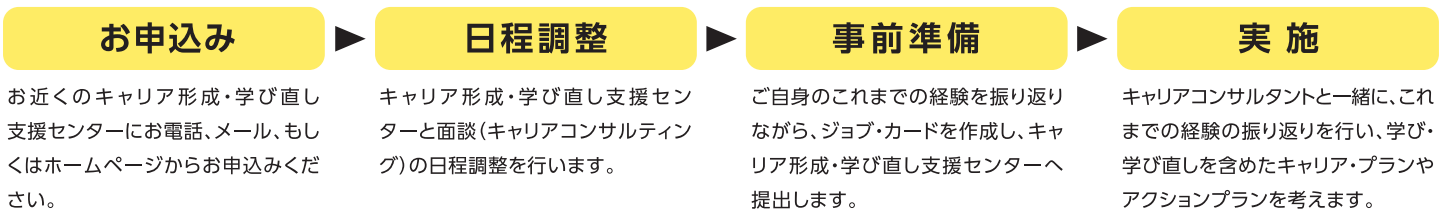
一人ひとりに寄り添い、主体的なキャリア形成をサポートいたします！



- ① 職場定着やキャリアアップに向けた支援
- ② 自己理解・仕事理解を深める相談支援
- ③ キャリア・プランの作成支援

あなたのキャリアの課題・問題をキャリアコンサルタントにお話ししてみませんか。キャリア形成支援の専門家との対話から、自分自身のこだわりや強み、価値観に気づくことがあります。それがきっかけで前に進む原動力になることもあります。悩みや不安がある時だけでなく、自分自身の考えや、学び・学び直しの取り組みを整理してみたい時などにも、ぜひご利用してみてください。

◎キャリアコンサルティングの流れ



キャリアコンサルティング実施後、キャリアの節目ごとにジョブ・カードを更新することをお勧めします。

ジョブ・カードとは？

ジョブ・カードは、ご自身の職業能力を「見える化」し、キャリア形成に役立てることができるキャリア・プランニングツールです。



ジョブ・カードがつくれる、わかる
マイジョブ・カードは
こちらからアクセス！▶



お申込み受付時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日、年末年始、GWを除く)

キャリアコンサルティングの実施時間(事前予約制)

月曜日～金曜日、第1・第3土曜日・第2日曜日 9:00～17:00

※但し、火曜日・木曜日は17:00～20:00も開設

| 実施時間 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～17:00 (最終開始時間 16:00) | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 17:00～20:00 (最終開始時間 19:00) | — | — | ● | — | ● | — | — |

※1. 本事業におけるキャリアコンサルティングでは職業紹介は行っておりません。

※2. 在職労働者の方を対象としておりますので、学生の方は学内のキャリアセンターや進路指導部などにご相談ください。

※3. 本事業のキャリアコンサルティングは、事前にジョブ・カードを作成いただいた上で実施します。

キャリア形成・学び直し支援センターなら、ジョブ・カードを活用した
キャリアコンサルティングが無料で受けられます。

オンラインも
可能です！

※専門実践教育訓練給付や特定一般教育給付の受給に際し、必要となる訓練前キャリアコンサルティングについても無料で実施しております。

お問合せ



山口キャリア形成・学び直し支援センター

〒754-0021 山口市小郡黄金町2-21 スクエア新山口 2F

☎ 083-902-6470 (平日9:00～17:30) ✉ carigaku_yamagu@pasona.co.jp

詳しくはWEBから <https://carigaku.mhlw.go.jp/>



5 令和5年度における地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業について（山口県）

【ポイント】

○新規として女性デジタル人材育成事業及び県外キャリア人材確保応援事業を実施

1 山口しごとセンター管理運営費

就職氷河期世代専任カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施

2 地域若者サポートステーション機能強化事業

地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施

3 雇用のセーフティネット強化事業

- 「オンライン就労支援セミナー」の開催（全6回）
- 個別相談支援の実施
- 「氷河期世代の人材活用オンライン企業向けセミナー」の開催（全2回）

4 女性デジタル人材育成事業

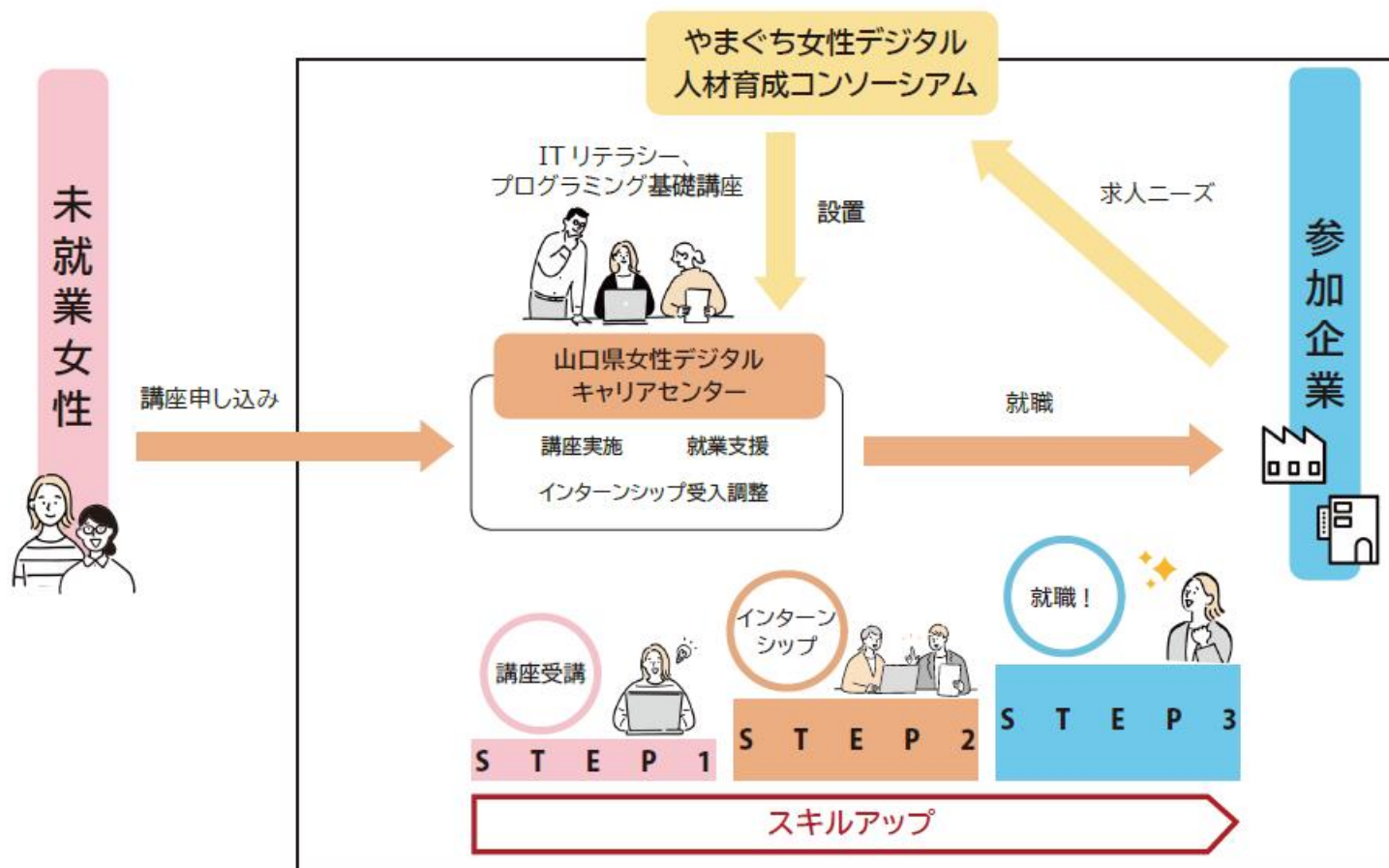
未就業等の女性を対象に、プログラミング等の専門スキルを習得する実践的なデジタル人材養成講座やインターンシップ等を実施し、県内企業と連携して女性の就業や待遇改善を一体的な支援を実施

5 県外キャリア人材確保応援事業

県内企業の人手不足が深刻化していることから、県内企業の県外からの人材確保を強化するため、キャリア採用に取り組む企業の支援を実施

- 求職者の採用・定着のためのオンラインセミナー（3回）
- マイナビ転職フェアへの出展
- 県外転職フェア出展料等支援
- セカンドキャリア向けインターンシップ交通費・宿泊費支援

1 やまぐち女性デジタル人材育成事業



2 県外キャリア人材確保応援事業について

U・I・Jターン採用を山口県が強力にバックアップ！

県外キャリア人材確保応援事業のご案内

対象：山口県内に事業所を有する事業社様
費用は全て無料となり、山口県が負担をします

コロナ禍以降、業種問わず求人倍率は堅調な伸びを見せております。特に各エリアでの求人数が増加をしており、全国TOPは福井県(1.78倍)、中国4県も山口県(1.48倍)、広島県(1.55倍)、鳥取県(1.51倍)、島根県(1.61倍)と全国平均1.32倍と比較しても高水準なエリアとなっております。今回、こうした背景により、県外からのキャリア人材確保に向けた支援を実施する事となりました。各社様の参加を御待ちしております。

①“求職者の採用・定着のためのオンラインセミナー”を開催

【セミナー内容】 ※締切：各開催の1日前迄
キャリア人材の「採用」「定着」に関するオンラインセミナーとなります。

1. 転職者を採用する際の留意点
2. 就職氷河期世代の特性・雇用に向けた助言
3. セカンドキャリア向けインターンシップ導入のメリット など

マイナビ

②国内最大級の転職フェアへの出展が可能！

右記、何れかのエリア・日程が選択可能です。(締切：7月31日(月))
出展費用は山口県が負担します。

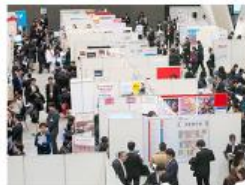
※マイナビ転職フェアへ出展希望の企業御担当者様は、上記、①への参加が必須となります。

※会場への交通費などは出展企業様負担となります。

※出展確定後のキャンセルは不可となります。

※希望企業が多数の場合、抽選となります。

※マイナビ転職への求人掲載・スカウトメールも付属します。



【本事業主催】
山口県 産業労働部産業人材課

【本事業受託・企画運営会社】
(株)マイナビ 転職情報事業本部
t-yamaguchi.uijcareer@mynavi.jp

講師 HRディレクション・パートナーズ 代表取締役 平尾 英治

オンラインセミナー 開催日時

- 第1回目 令和5年8月17日(木)13:00~17:00
- 第2回目 令和5年9月19日(火)11:00~15:00
- 第3回目 令和6年1月12日(金)13:00~17:00

※実施方法：ZOOMの利用を想定しています

マイナビ転職フェア 開催エリア・日程

- 【東京】マイナビ転職フェア 令和5年 9月23日(土) 場所：東京国際フォーラム
- 【福岡】マイナビ転職フェア 令和5年10月 1日(日) 場所：福岡国際会議場
- 【広島】マイナビ転職フェア 令和5年10月 7日(土) 場所：広島コンベンションホール
- 【大阪】マイナビ転職フェア 令和5年10月 28日(土) 場所：グランフロント大阪
- 【東京】マイナビ転職フェア 令和6年 1月 27日(土) 場所：東京国際フォーラム

▼参加ご希望の企業様は、下記QRコードより御申込をお願いします



送信頂きました内容は、山口県へ送付されます。
情報開示については、山口県産業労働部産業人材課までお問い合わせください。

2 県外キャリア人材確保応援事業について



| 事業名 | 概要 | 補助上限額 |
|-----------------------------------|--|--|
| (1) 県外転職フェア出展料等支援事業 | 県外からの人材を確保するために、事業者が負担した転職フェアの 出展料 及び就職情報サイトへの 掲載料 の一部を補助するもの | 30万円 |
| (2) セントキャリア向けインターンシップ 交通費・宿泊費支援事業 | (1)の事業者が実施するセントキャリア向けインターンシップに参加するために県外在住の離転職者が負担した 交通費実費 及び 宿泊費実費 を一部補助するもの | 交通費実費 3万円 宿泊費実費 1万5千円 |

6 就職氷河期世代に対する支援の取組事例の情報共有について

- (1) 学校法人YIC学院
- (2) 経済産業省 中国経済産業局

「地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業」

実施状況について

学校法人 YIC 学院

| | |
|-------|---|
| 業務の名称 | 令和4年度雇用のセーフティネット強化事業 (就職氷河期世代活躍支援)実施業務 |
| 業務の目的 | 対人コミュニケーション力向上に資するセミナーや企業向けセミナー、個別相談を実施することにより、職業意識や能力向上を図り、就職氷河期世代の県内就労や社会参加を支援する。 |
| 業務期間 | 令和4年6月1日から令和5年3月31日 |
| 実施状況 | <p>1. 一歩前に踏み出すオンライン就労支援セミナーの実施</p> <p>第1回セミナー配信日 令和4年9月13日(火) 14:00~15:00 配信場所 YIC Studio 講師 古江宏司氏 タイトル「Zoomの効果的な使い方を学ぼう」 受講者数 11名 アーカイブ視聴(2名)</p> <p>第2回セミナー配信日 令和4年9月14日(水) 14:00~15:00 配信場所 KDDI維新ホール内 講師 柿川孝子氏 タイトル「アサーション(自分の気持ちの伝え方)を学ぼう」 受講者数 11名 アーカイブ視聴(2名)</p> <p>第3回セミナー配信日 令和4年9月21日(水) 14:00~15:00 配信場所 KDDI維新ホール内 講師 柿川孝子氏 タイトル「アンガーマネジメントで気持ちを整えよう」 受講者数 11名 アーカイブ視聴(3名)</p> <p>第4回セミナー配信日 令和4年10月17日(月) 14:00~15:00 配信場所 KDDI維新ホール内 講師 川路澄子(YIC学院) タイトル「自分の興味や強みを知ろう」 受講者数 16名 アーカイブ視聴(3名)</p> <p>第5回セミナー配信日 令和4年10月25日(火) 14:00~15:00 配信場所 YIC Studio 講師 宮本直志(YIC学院) タイトル「業界・職種を理解しよう」 受講者数 12名 アーカイブ視聴(3名)</p> <p>第6回セミナー配信日 令和4年11月8日(火) 14:00~15:00 配信場所 YIC Studio 講師 古江宏司氏 タイトル「アフターコロナ、あなたもITで変わる」 受講者数 10名 アーカイブ視聴(3名)</p> <p style="text-align: right;">添付資料(チラシ①)</p> |

2. セミナー参加者に対する定期的な個別相談支援(キャリアコンサルティング)の実施

- (1) セミナー参加者に対する受講後アンケート実施
期間 令和4年9月13日(火)～11月30日(水)
毎回のセミナー配信後～最終アンケートまで
- (2) 個別相談支援
毎回のアンケートの中で、受講者全員に対して、相談の有無を確認。
また「相談してみたい」と回答した方4名に対して個別相談を実施
→オンラインまたは対面による相談を実施。

【Aさん 40代】

①導入・初回面談 **傾聴・情報提供・自己分析**

- ・現在、パート職としてスーパーマーケット内惣菜担当
- ・契約が2月で終了するが、自分としてはこのままとどまるより、正社員で働く道を考えたい 希望職種は、経理、事務関係
- ・資格等：普通自動車免許、日商簿記3級、教員免許（公民）、四年制大学卒業
- ・自分の経験の棚卸
- ・「正社員で働こう！就職面談フェア」の情報提供

②面談 **承認・傾聴・情報提供・会社研究**

- ・就職フェアで5社と面談、企業が求めるイメージ等が何となく分かり、同じ経理事務でも内容や業務が違うことが分かり、これからも色々な企業と面接して、自分にあったところを探していきたいと前向きな返事
- ・加えて、ハローワーク防府での就職面接会2種の情報を提供

③面談 **傾聴・情報提供（優先順位等）・目標設定**

- ・現職場より今のアルバイト先からフルタイム勤務の打診があったことについて相談を受ける
- ・不安定な現状とフルタイムでの勤務の違いを分かりやすく説明を行う

④面談 **傾聴・スキル習得面接練習**

- ・面接での受け答えや自己PRなどについての助言と練習を実施

⑤面談 **傾聴・促進・意思決定**

- ・現職場よりフルタイムでの申し出があったとのこと
今まで90時間程度だったのがいきなり月20日になることがやっていく自信がないとの相談
- ・傾聴後、これを機会ととらえ、前向きに捉えることを一緒に考える

⑥報告 **傾聴・定着支援**

- ・3月21日からフルタイムで正式に採用が決定
雇用形態 準社員（非正規雇用） 職種：食品製造及び仕入事務

3. 氷河期世代の人材活用オンライン企業セミナーの実施

(1) 配信日時：令和4年10月21日(金) 13:30 ~ 15:00

配信場所：KDDI 維新ホール 会議室 205

第1回「アフターコロナの人材獲得術」

～本格的な人材不足時代への対応について～

講師 株式会社クオリティ・オブ・ライフ

代表取締役 原 正紀 氏

申込企業数 13社

その他学校法人 YIC 学院より 2名、県労働政策課 1名 計 16名が視聴
アーカイブ希望 11社

第2回「スシローの店長は何故 100名以上のアルバイトたちを超戦力に
育て上げることができたのか？」

～常識破りのマネジメント!エンパワメントコーチング™の極意
を直伝!～

講師 株式会社ライフ・アンド・シード

代表取締役 中野 美加 氏

申込企業数 18社 19名

その他学校法人 YIC 学院より 2名、県労働政策課 1名 計 16名が視聴
アーカイブ希望 16社

添付資料 (チラシ②)

4. セミナー参加者や企業に対するフォローアップと動向調査の実施

(1) 就労支援セミナー参加者に対する個別相談実施後のフォローアップ

①山口県主催「正社員で働こう就職面談フェア」の案内

②就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援事業
のセミナー・説明会の案内 等

(2) 企業向けセミナー参加企業に対して山口労働局「就職氷河期世代支援都
道府県別プラットフォーム」活用の案内

★採用に結びついた実績 5名

以上

令和4年度雇用のセーフティネット強化事業
(就職氷河期世代活躍支援)

不安を解消して
一歩前へ
踏み出す

対人不安、コミュニケーションに対する
不安を解消し、就労に向けて
勇気を持って踏み出そう!

オンライン

就労 支援 セミナー

受講者募集

受講料無料



Zoomの
効果的な使い方



自分の気持ちの
伝え方



ネガティブ感情の
処理方法



自分の興味や
強みとは



業界・職種を
理解しよう



テレワークで
社会参加

9/6^火・14^水・21^水・10/17^月・25^火・11/8^火

全6回 14:00~15:00〈60分〉

オンライン(Zoom)による配信

就職氷河期世代(概ね35~50歳)の方が対象です

- 全6回:14:00~15:00(60分) ※1回の参加でもOKです
- 配信方法:オンライン(Zoom)による配信
- 対象:就職氷河期世代(概ね35~50歳)の方
- 各回定員:20名程度(申込順)
- 受講料:無料

セミナー受講後のフォローアップ

参加いただいた方お一人おひとりを大切に、
キャリアコンサルタントによる定期的な個別相談を
ご希望の方に実施します(対面またはオンライン)。

主催:山口県商工労働部労働政策課 企画・運営:学校法人YIC学院

雇用のセーフティネット強化事業事務局 学校法人YIC学院

〒754-0021 山口市小郡黄金町2番24号(YIC Studio内) TEL 083-976-8355 FAX 083-976-8357 Mail cc-info@yic.ac.jp

日程・講座内容

第1回 9 / 6 火 14:00～15:00 <60分>

Zoomの効果的な使い方を学ぼう
～Zoomを正しく活用する方法～

オンラインに慣れ、これからのセミナーを楽しむためのコツを学ぶ

講師 タスクエリート代表 古江 宏司 氏

第2回 9 / 14 水 14:00～15:00 <60分>

アサーション(自分の気持ちの伝え方)を身につけよう
～上手な自己表現のコツ～

自己表現がうまくできないことからの対人不安を取り除く

講師 かきかわ統合医療相談室代表 柿川 孝子 氏

第3回 9 / 21 水 14:00～15:00 <60分>

アンガーマネジメントで気持ちを整えよう
～怒りや悲しみなどのネガティブ感情の処理方法～

考え方次第で前に進める自分を知る

講師 かきかわ統合医療相談室代表 柿川 孝子 氏

第4回 10 / 17 月 14:00～15:00 <60分>

自分の興味や強みを知ろう

自己分析で自分を見つめなおし、自分の魅力を再発見してみませんか

講師 学校法人YIC学院 川路 澄子

第5回 10 / 25 火 14:00～15:00 <60分>

業界・職種を理解しよう

県内企業の業種や職種の分析を通じて、
自分にあった仕事探しのポイントを知る

講師 学校法人YIC学院 宮本 直志

第6回 11 / 8 火 14:00～15:00 <60分>

アフターコロナ、あなたもITで変わる
～テレワークで社会参加はできる～

あなたでもできそうなITを使った仕事を探そう

講師 タスクエリート代表 古江 宏司 氏

講師プロフィール



タスクエリート代表
古江 宏司 氏

下松市出身。2000年インターネットの黎明期にウェブビジネスで起業。SNSや動画コンテンツを活用した営業戦略コンサルティングやSNSマーケティング、DXに特化したコンサルティング業。2022年からはAR・VRの活用営業コンサルティングを開始。またキャリア教育事業「夢育塾(むいくじゅく)」塾長として中高生のキャリア教育に携わる。



かきかわ統合医療相談室代表
柿川 孝子 氏

大阪府出身。2011年山口市内でカウンセリングルームかきかわ統合医療相談室開設。航空自衛隊、企業団体、教育関連、官公庁等にてカウンセリング、各種セミナー開催。公認心理師 産業カウンセラー。

参加申込方法

電話、FAXまたはメールにて申込

TEL 083-976-8355

FAX 083-976-8357

Mail cc-info@yic.ac.jp

二次元コードから
専用フォームにて
申込できます



お問合せ先

雇用のセーフティネット強化事業
事務局 学校法人 YIC 学院

(担当: 徳永・林)

〒754-0021

山口市小郡黄金町2番24号(YIC Studio内)

TEL 083-976-8355

FAX 083-976-8357

Mail cc-info@yic.ac.jp

申込期限 9月2日(金)

- お申込受付後、Zoom参加用のIDとパスワードをお送りします。
- セミナー参加後にもう一度見たい方へ、アーカイブ配信も行います。
- 視聴に際して、機器、Wifi等の環境が不十分な方には専用のタブレット、Wifi機器等の貸出も行いますので、必要な場合は、申込時にその旨を伝えてください。担当者より連絡を差し上げ、相談の上、貸出用機器について準備いたします。ただし、場合によっては貸し出しができない場合もございますのでご了承ください。

| 「不安を解消して一歩前へ踏み出すオンライン就労支援セミナー」参加申込書 雇用のセーフティネット強化事業事務局 学校法人YIC学院 行 | | | | | |
|--|--|--|--|----------------------|--|
| ふりがな お名前 | ----- | | 生年月日 | S H | 年 月 日 年齢 才 |
| お電話番号 | メールアドレス | | | | |
| ご住所 | (〒) | | | | |
| 申込みたい講座の□にチェックを入れてください(複数回答可) | <input type="checkbox"/> 第1回 <input type="checkbox"/> 第4回 | <input type="checkbox"/> 第2回 <input type="checkbox"/> 第5回 | <input type="checkbox"/> 第3回 <input type="checkbox"/> 第6回 | アーカイブ (オンデマンド) 配信 | <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない |
| 貸出用機器について | <input type="checkbox"/> 必要ない <input type="checkbox"/> 相談したい (内容: <input type="checkbox"/> 視聴用タブレットかPCの貸出 <input type="checkbox"/> Wifi 機器の貸出) 相談内容を選択してください | | | | |

氷河期
世代の

人材活用 オンライン 企業セミナー

受講企業募集
受講料無料



10/21 金

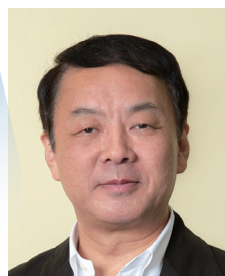
13:30～15:00

講師 株式会社クオリティ・オブ・ライフ
代表取締役

原 正紀氏

アフターコロナの「人材獲得術」

～本格的な人材不足時代への対応について～



東京都出身

早稲田大学法学部卒業後、大手メーカーを経てリクルートへ入社し、企業や官公庁、大学などへの提案活動を行った後に起業。採用・定着・育成・人事制度構築などに関する提案を行い、多数の企業の成長・変革をサポート。併せて多くの自治体から公共事業での人材コンサルティングや就職氷河期世代の雇用対策支援に多く携わる。

中小企業診断士、キャリアコンサルタント、ITコーディネーター、高知大学客員教授(キャリア論)、成蹊大学非常勤講師(企業論)

厚労省・経産省「働き方改革検討委員」、中小企業庁「人材不足対応研究会委員」等

11/11 金

13:30～15:00

講師 株式会社ライフ・アンド・シード
代表取締役

中野 美加氏

「スシロー」の店長は何故100名以上のアルバイトたちを 超戦力のチームに育て上げることができたのか?

～常識破りのマネジメント! エンパワメントコーチング™の極意を直伝!～



元広島大学非常勤講師。札幌出身。

大卒の外資系穀物商社トレーダーとして、若干25歳の若さで年間550億円の取引を達成。26歳で起業ののち、外国語教育・営業・代理店開拓などで多岐にわたる分野で才能を発揮。2003年、本質的なコーチングを求め、「ホリスティックな視点」をベースにしたアメリカの国際コーチ連盟認定校で学ぶため、札幌から通学して唯一日本人として資格を習得。

その後、日本人の習慣と企業文化に適した独自のメソッド「エンパワメントコーチング™」を開発し、人材育成機関を設立、385名もの人材育成トレーナーを育て上げる。

また、2010年から6年間に及び「あきんどスシロー」“伝説のトレーニング”を構築する。

以降、多岐にわたって研修・講演を展開する。

組織改革コンサルタント・人材育成トレーナー

受講料 無料

全2回 13:30～15:00(90分)
※1回の参加でもOKです

対象者 県内地元企業の
採用担当者20社程度

講演方法 オンライン(ZOOM)による配信

申込方法 電話、メールでお申込みいただくか、以下のホームページや専用申込フォームURLからお申込み下さい。

- 山口県労働政策課ホームページ <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/86/>
- YIC学院 YICキャリア事業センター / 企業向けの情報 <https://www.yic.ac.jp/cpc/educate>
- 申込専用フォームURL <https://forms.gle/PWJ19ggTXYMmAuR88>

申込期限 10月11日(水) 17時まで ※なお、セミナー参加後にもう一度見たい方へはアーカイブ配信も行います。

★受講にあたって注意事項 インターネットの接続機器とその通信料金は受講者様(受講会社様)で確保・ご負担をお願いします。

セミナー受講後の
フォローアップ

ご参加いただいた企業に対しては、氷河期世代の雇用に関する
コンサルティングを1回のみ無料で実施させていただきます。
また、やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業
と連携して氷河期世代の求職者とのマッチングに向けた情報
提供をいたします。

二次元コードからも
お申込みできます



お問合せ先 雇用のセーフティネット強化事業事務局 学校法人YIC学院 (担当:徳永・林)

〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町2番24号(YIC Studio) TEL 083-976-8355 FAX 083-976-8357 Mail cc-info@yic.ac.jp

産業人材分野における 当局の取組について

中国経済産業局 地域経済部 産業人材政策課

令和5年8月29日

「中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン」

- 中小企業を巡る環境がめまぐるしく変化中、経営課題の背景が、必要な人材を十分に確保できないといった人材に関する問題である場合が少なくない。経営者が人材の課題に気付いて正面から向き合い、貴重な人材を活かせる仕事はどのようなものか考え、行動を起こすことが重要。
- そこで、経営者が取り組むべき人材活用策のポイントや、その際に利用できる支援策を整理するため、令和4年10月から令和5年2月にかけて、経営・人材戦略、労働市場に精通する有識者をメンバーとする検討会を5回にわたり開催。
- 検討会を踏まえ、従来の**人手不足対応ガイドライン（平成29年策定、令和2年改定）**を「**人材活用ガイドライン**」として**再改定**。今後は、関係省庁・関係機関と連携し、同ガイドラインを活用した人材活用・人材戦略の実践を促す。

基本方針

(1) 人材抜きに経営戦略は描けない

経営者が日々目の当たりにしている経営課題の背景に、実は人材に関する課題が潜むことが少なくない。人材活用こそが経営戦略の最大の核になっている。

(2) 経営戦略を描くことこそが最大の人材戦略

一方、人材を惹き付け、成長を促すためには、働く場である企業がどのような姿を目指すのか、どのような仕事を提供してくれるのか、企業のミッション、ビジョン、バリューを明確に示すことが不可欠。そうした経営戦略の全体像を改めて描くことが最大の人材戦略となっている。

(3) 経営戦略と人材戦略を一体的に構想・実践する

人材活用策と経営戦略は表裏一体であり、経営戦略のない対症療法的な人材活用策は実効性に欠ける。経営戦略の再構築と人材戦略の強化を一体的に進めるよう促すことが人材活用ガイドラインの狙い。

(4) 支援機関が伴走する形で対策を進める

具体的な行動につなげるためには、支援機関が1対1で伴走しながらガイドラインに指南された検討を進めることが効果的。基本的には支援機関と経営者が一緒に読み進めることを想定。

概要

Step 1

経営課題と
人材課題を
見つめなおす

経営課題と背景にある人材課題を確認

現在の経営上の課題は何か、チェックリストで確認し、該当する経営課題の背景に、どのような人材の問題が潜んでいるか具体的に紹介・確認。

Step 2

人材戦略を
検討してみる

課題に対する人材戦略の検討

多様に感じられる課題を、「中核人材の採用」、「中核人材の育成」、「業務人材の採用・育成」の3つに整理し、人材に関する課題の対応方針を大局的に検討する。

Step 3

人材戦略を
実行する

人材課題を解決するための具体的な取組のポイントを確認

【ステップ2】の3つの分類に沿って具体的な対策を提案。成功事例を紹介しながら、それぞれの対策の留意点や取組に活用できる政府の支援策も紹介。

人材活用ガイドラインの詳細について

中小企業庁HP



本文へ サイトマップ English

文字サイズ 中 大

トップページ 中小企業庁について 中小企業憲章・法令 公募・情報公開 審議会・研究会 予算 白書・統計情報

トップページ ▶ 経営サポート ▶ 雇用・人材支援 ▶ 「中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン」及び事例集を公表します

「中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン」及び事例集を公表します

令和5年6月22日

「中小企業・小規模事業者人手不足対応ガイドライン」を3年ぶりに抜本的に改定した「中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン」を公表します。併せて、経営戦略と人材戦略に一体的に取り組み成果を上げた事業者を紹介する事例集を公表します。

概要

中小企業を巡る環境がめまぐるしく変化する中で、売上拡大や資金繰り等の日々の経営課題の背景に、人手不足や人材育成など人材が大きな経営課題になっている可能性が少なくありません。経営者が人材に係る課題に正面から向き合い、貴重な人材を活かせる仕事はどのようなものか考え、行動を起こすことが重要です。

経営者に日々の経営課題の背景に、中核人材の採用、中核人材の育成、業務人材の採用・育成の3つの人材課題（3つの窓）が蓄んでいよいよ確認してもらい、それに対する具体的な対応策や支援策を紹介する「中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン」を取りまとめました。

また、経営課題に基づき、計画的に数年後を見据えた人材の採用・育成・活用に取り組み、一定の成果を上げた事例を事例集として取りまとめました。

資料

- [中小企業・小規模事業者人材活用ガイドライン](#) (1.2MB)
- [中小企業・小規模事業者の人材活用事例集](#) (6.1MB)
- (参考) 「IT導入補助金」を活用した業務効率化の取組事例 (5.0MB)

中小企業・小規模事業者人材活用ガイドラインP3 1～3 2における都道府県別の連絡窓口一覧（全国地方公共団体コード順）

| | | | | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 北海道 (223.1KB) | 青森県 (244.2KB) | 岩手県 (237.3KB) | 宮城県 (262.5KB) | 秋田県 (242.3KB) | 山形県 (238.3KB) | 福島県 (239.3KB) | 茨城県 (247.7KB) |
| 栃木県 (236.0KB) | 群馬県 (245.4KB) | 埼玉県 (235.2KB) | 千葉県 (238.7KB) | 東京都 (233.4KB) | 神奈川県 (240.2KB) | 新潟県 (229.2KB) | 富山県 (234.6KB) |
| 石川県 (236.3KB) | 福井県 (236.5KB) | 山梨県 (242.6KB) | 長野県 (237.9KB) | 岐阜県 (238.3KB) | 静岡県 (250.1KB) | 愛知県 (241.4KB) | 三重県 (236.9KB) |
| 滋賀県 (264.9KB) | 京都府 (234.8KB) | 大阪府 (240.7KB) | 兵庫県 (240.6KB) | 奈良県 (261.8KB) | 和歌山県 (259.9KB) | 鳥取県 (271.9KB) | 島根県 (270.9KB) |
| 岡山県 (271.7KB) | 広島県 (273.4KB) | 山口県 (253.8KB) | 徳島県 (274.1KB) | 香川県 (269.7KB) | 愛媛県 (255.5KB) | 高知県 (273.4KB) | 福岡県 (283.2KB) |
| 佐賀県 (267.1KB) | 長崎県 (271.5KB) | 熊本県 (269.5KB) | 大分県 (260.9KB) | 宮崎県 (284.7KB) | 鹿児島県 (271.9KB) | 沖縄県 (254.0KB) | |

(本発表のお問い合わせ先)

中小企業庁経営支援部経営支援課長 松井
担当者：岩田、入澤、澤上
電話：03-3501-1511(内線 5331～5)

(掲載HP)

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/koyou/hitodebusoku/guideline.html>

表紙（人材活用ガイドライン）

中小企業の経営者・支援機関の皆さまへ



中小企業・小規模事業者 人材活用ガイドライン

3ステップで検討する人材戦略

人材活用に関する課題を解消するためのガイドラインです。特に、中小企業・小規模事業者に支援機関が伴走して課題解消を目指す際に活用いただくことを目的に作成しました。

ガイドラインに示される3ステップの手順を、中小企業・小規模事業者の経営者や人事責任者と支援機関が共に踏みながら、経営課題の背景にある本質的な課題を見だし、人材戦略の検討の輪を従業員にも広げていく羅針盤となれば幸いです。

人材戦略検討の進め方の全体像を知りたい
人材戦略検討のための3つのステップを確認しましょう P 6

経営課題と人材課題を明確にしたい
ステップ1 経営課題と人材課題チェックリストを確認しましょう P 7

課題に応じた人材戦略を知りたい
ステップ2 人材戦略検討における3つの窓を確認しましょう P15

課題に対する具体的な打ち手を検討したい
ステップ3 人材戦略に基づく具体的な取組を確認しましょう P18

他の事業者の事例を知りたい
事例集をまとめたので確認しましょう 事例集へ

令和5年（2023年）6月

地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業（多様な人材の確保支援）

- 中国地域の生産年齢人口の減少などにより、**中小企業の人材不足は年々深刻**となっている。
- 人手不足に悩む中小企業・小規模事業者等においては、従来の慣例や慣習にとらわれることなく、多様な人材が、能力や特性を活かして活躍できる組織づくりを行い、企業の付加価値を高め、生産性向上を図ることが課題解決の重要な鍵となる。
- 本事業では、**中小企業等の経営課題を明確化し、課題解決に向けて多様な人材（氷河期世代・女性・若者・シニア等）を確保し、定着までの一貫した支援を行う。**

<事業内容>

●多様な人材活用セミナー開催

求人像を明確化し、多様な働き方、多様な人材を確保・活用・育成するためのポイントについてセミナーを開催。

●伴走型支援

経営課題を整理し、課題を解決するための人材像の明確化、多様な人材を活用するための業務の切り出しや、社内体制の整備についてアドバイス。

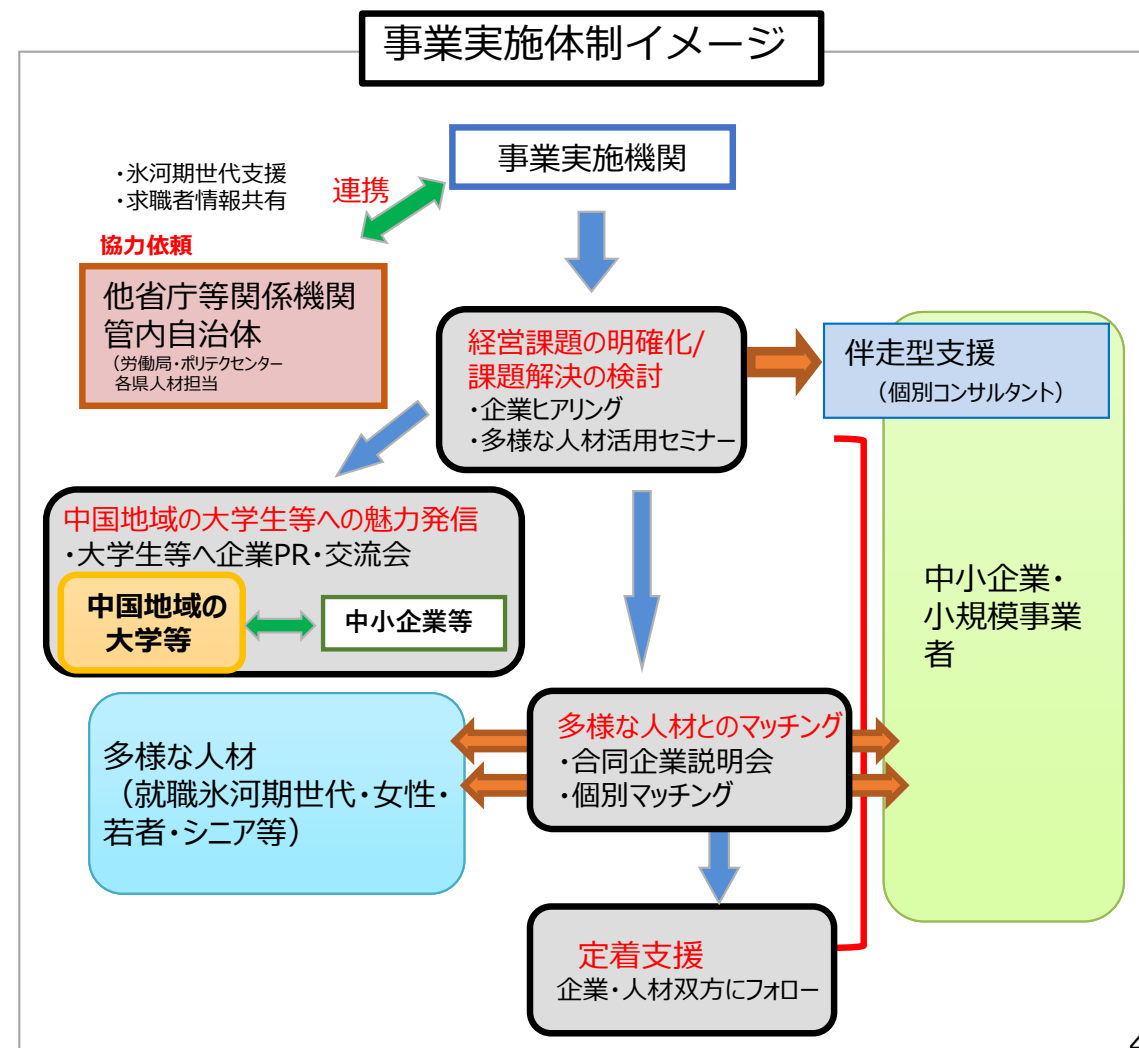
また、必要な人材確保のための魅力発信方法・マッチング支援、定着支援まで一貫通貫で行う。

●管内学生への魅力発信事業

中国地域半導体関連産業振興協議会で支援をしている半導体関連産業や未来牽引企業等の他、DX化で事業変革を目指す中小企業等を中心に、企業の魅力を学生にPR。将来の人材確保、若者世代の地域外への流出防止に繋げる。

●マッチング支援

企業の経営課題の明確化を図り、セミナーによる意識啓発の後で、必要な人材確保のためのマッチング支援を行う。



地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業（副業・兼業人材活用支援）

- 中国地域の生産年齢人口の減少などにより、**中小企業の人材不足は年々深刻**となっている。
- 一方、大手企業における副業・兼業解禁の流れを受け、従来型の正社員登用の手法に代わり外部専門人材の活用が浸透しつつあるものの、地域の中小企業における認知度は低く、外部人材の活用自体が人材不足解消策の選択肢に挙がらない実情がある。
- 本プロジェクトでは、「**副業・兼業**」を切り口に、「**外部専門人材の活用促進**」により地域における**人材不足の課題解決**に取り組む。特に、「**企業の業務効率化**」や「**人手を要さないビジネスモデルへの転換**」、「**DXへの取組**」等を人材活用の領域として、課題解決に効果を発揮できる取り組みを目指すとともに、外部人材のスキル・ノウハウ習得により、社内人材の育成に繋げる。

<事業内容>

●企業の発掘

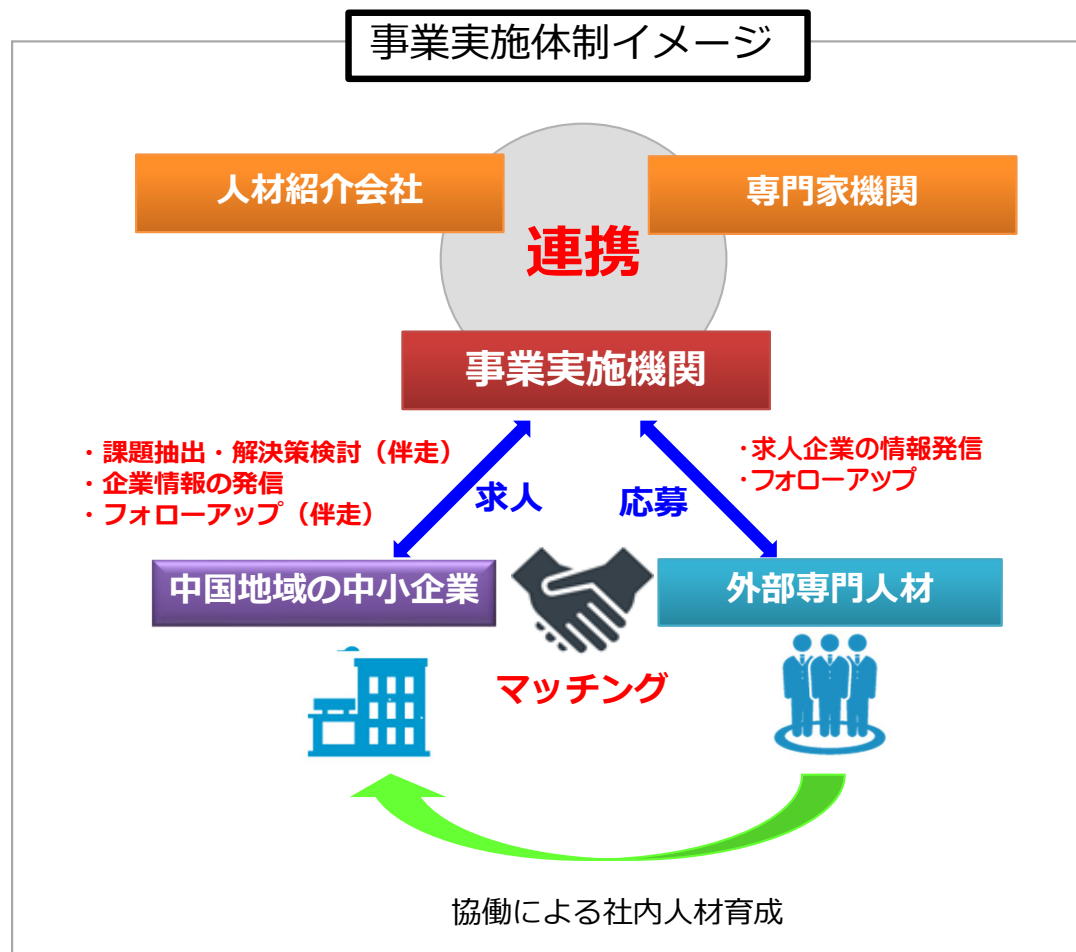
企業向けに「副業・兼業人材」の活用による人材不足の解消に関する意識啓発セミナーを開催する。

●伴走型支援・マッチング

「人材活用ガイドライン」に沿った個別支援を行う。外部専門家機関等との連携により、企業の経営課題の明確化から解決策の検討、課題解決人材像の明確化、副業・兼業人材とのマッチングまでをパッケージとした伴走支援を行うとともに、事業の効果検証を行う。

●フォローアップ

外部人材の活用状況や、企業における外部人材活用手法について、社内体制の構築等に向けた支援を行う。



地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業

(経営戦略・人材戦略の一体的推進と地域支援機関ネットワークの形成)

- 中国地域の生産年齢人口の減少などにより、**中小企業の人材不足は年々深刻**となっているなか、企業が持続的に成長するためには、付加価値の高い経営を実現していく経営力の向上が不可欠であり、経営戦略の実行に加えて人材戦略の策定・実行を一体的に進めていくことが重要である。
- 本事業では中小企業の経営者等に対し、**単なる人手不足の解消ではなく、人材育成及び中核人材の確保等、経営戦略と連動した人材戦略策定の重要性等**について、**意識醸成を図るセミナー・ワークショップを開催**をする。
- また、中小企業の**人材確保支援を行う支援機関のネットワーク形成に向けて、経営支援機関等を対象としたセミナー・ワークショップを開催**する。

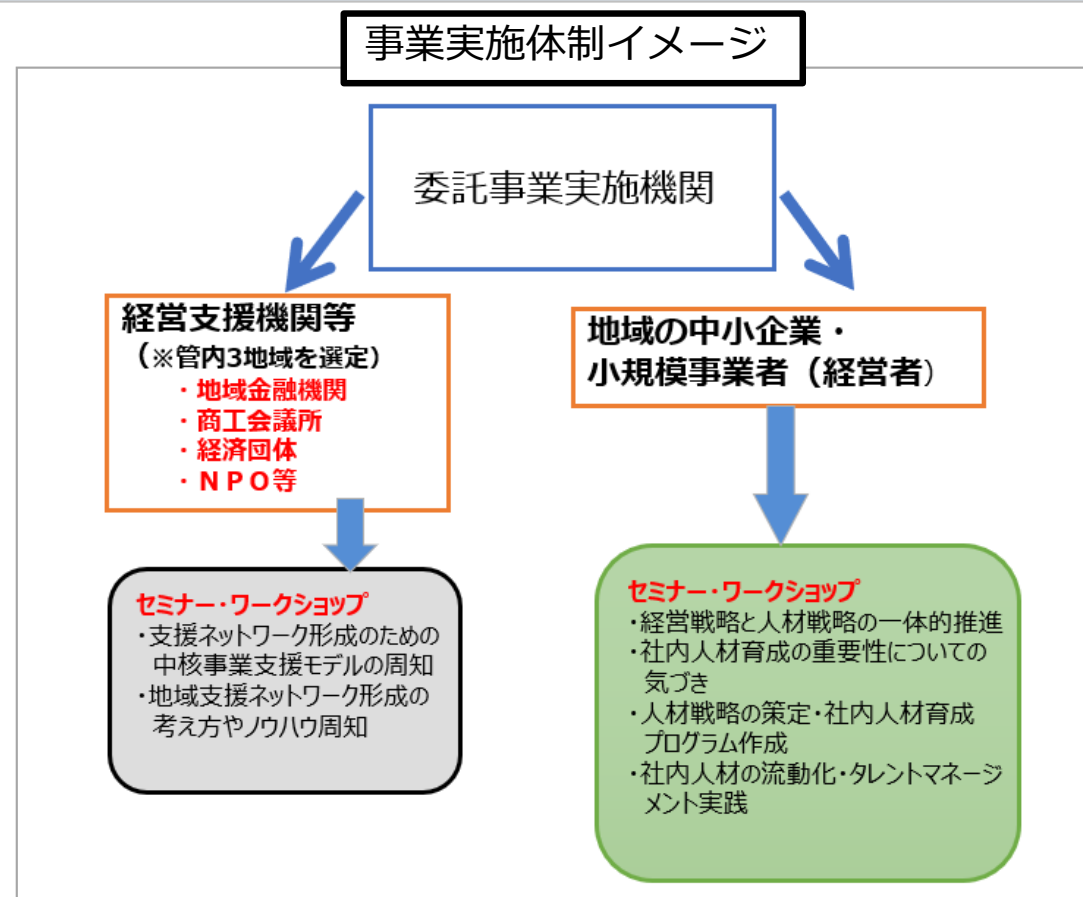
<事業内容>

●中小企業経営者への経営戦略と人事戦略の一体的推進に向けた意識醸成

経営者に対し、経営課題解決のための人材確保の重要性や社内人材育成（学び直し）等を目的とした、人材戦略策定の重要性等についてセミナー・ワークショップを開催し、意識を醸成をする。

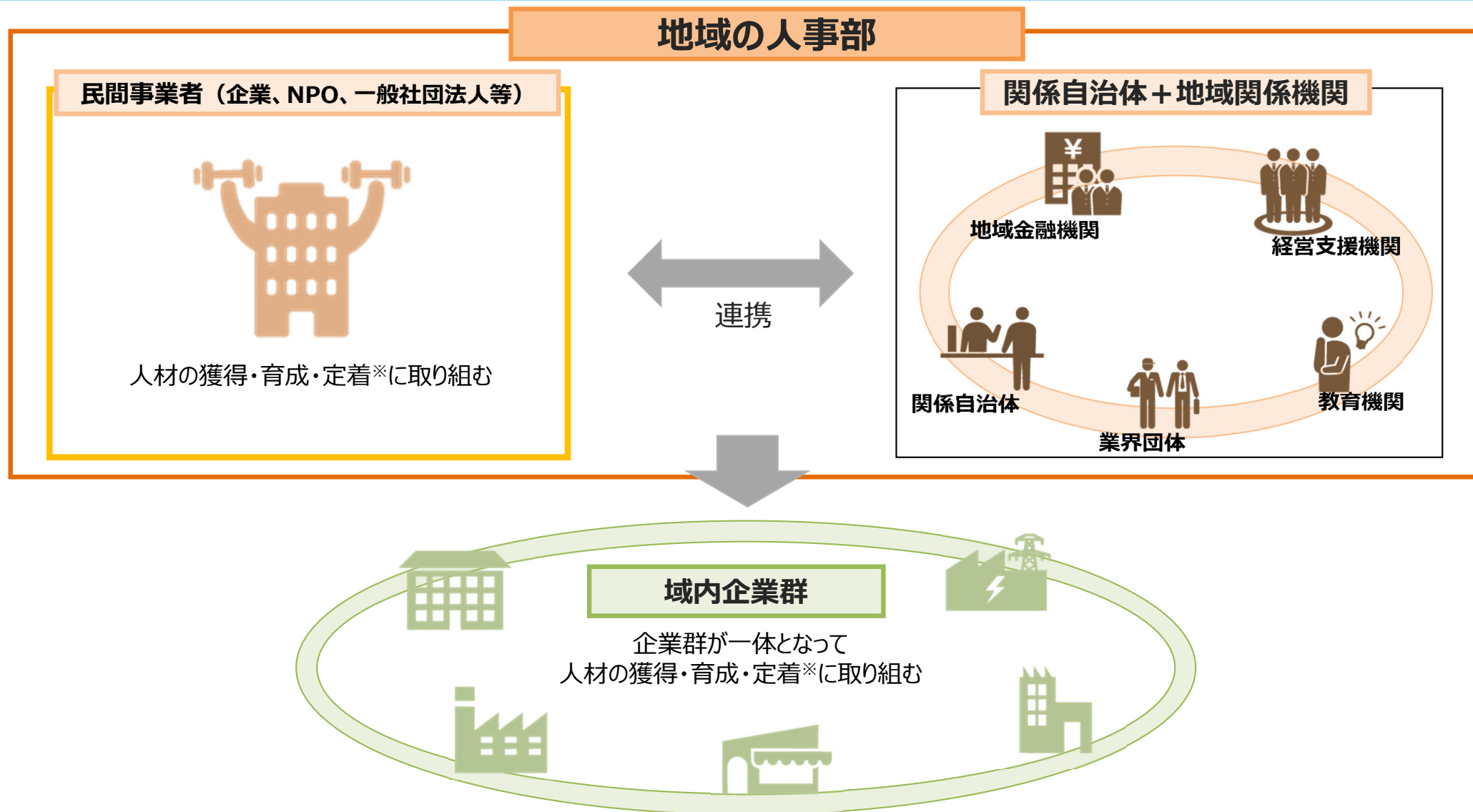
●地域における支援機関ネットワーク形成

- ・中国地域の人材確保等の支援ネットワーク形成に向け、積極的な3地域を選定。（山陽2地域：山陰1地域を目安）
- ・選定地域の経営支援機関等を対象に、中企庁中核事業で創出された地域支援機関ネットワークモデルを広く周知し、当地域における支援機関ネットワーク形成に向けたセミナー・ワークショップを開催。



「地域の人事部」のイメージ図

- 民間事業者等が**複数の地域企業を束ね**、地方自治体、金融機関等の**地域の関係機関と連携**しつつ、**地域の企業群を一体**として、**将来の経営戦略実現を担う人材の確保（兼業・副業含む）**・域内での**キャリアステップの構築**等を行う**総合的な取組を促進する**。



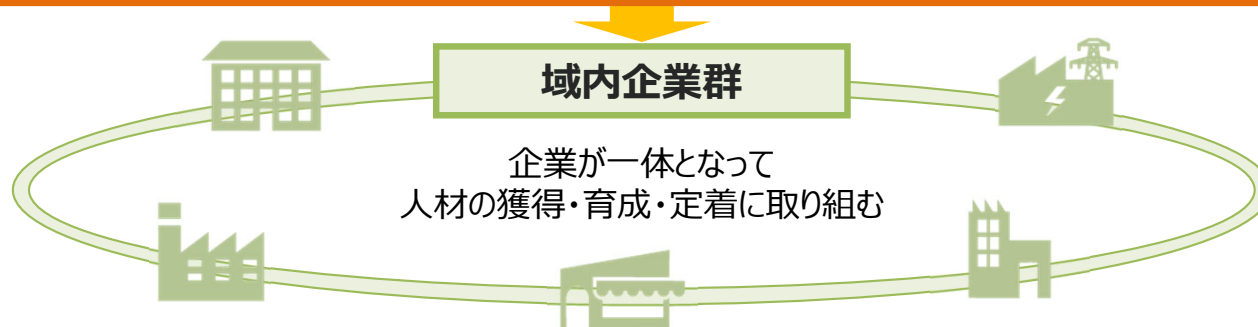
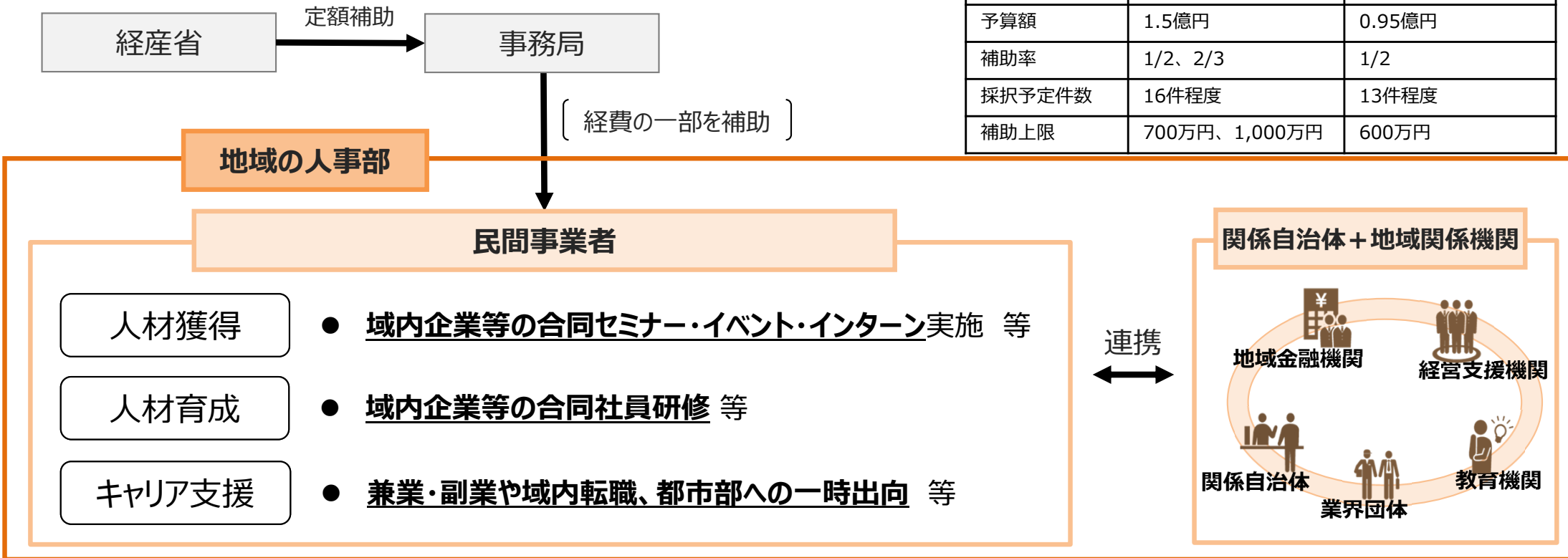
※獲得：域内企業等の合同セミナー・イベント・インターン実施、育成：域内企業等の合同社員研修、定着：兼業・副業や域内転職、都市部への一時出向 等

令和5年度「地域戦略人材確保等実証事業」スキーム図

- 民間事業者等が**複数の地域企業を束ね**、地方自治体、金融機関等の**地域の関係機関と連携**しつつ、**地域の企業群を一体**として、**将来の経営戦略実現を担う人材等の確保・域内でのキャリアステップの構築**等を行う**総合的な取組（地域の人事部）**について、その経費の一部を支援します。

＜事業スキーム＞

| | 令和5年度 | 令和4年度 |
|--------|---------------|--------|
| 予算額 | 1.5億円 | 0.95億円 |
| 補助率 | 1/2、2/3 | 1/2 |
| 採択予定件数 | 16件程度 | 13件程度 |
| 補助上限 | 700万円、1,000万円 | 600万円 |



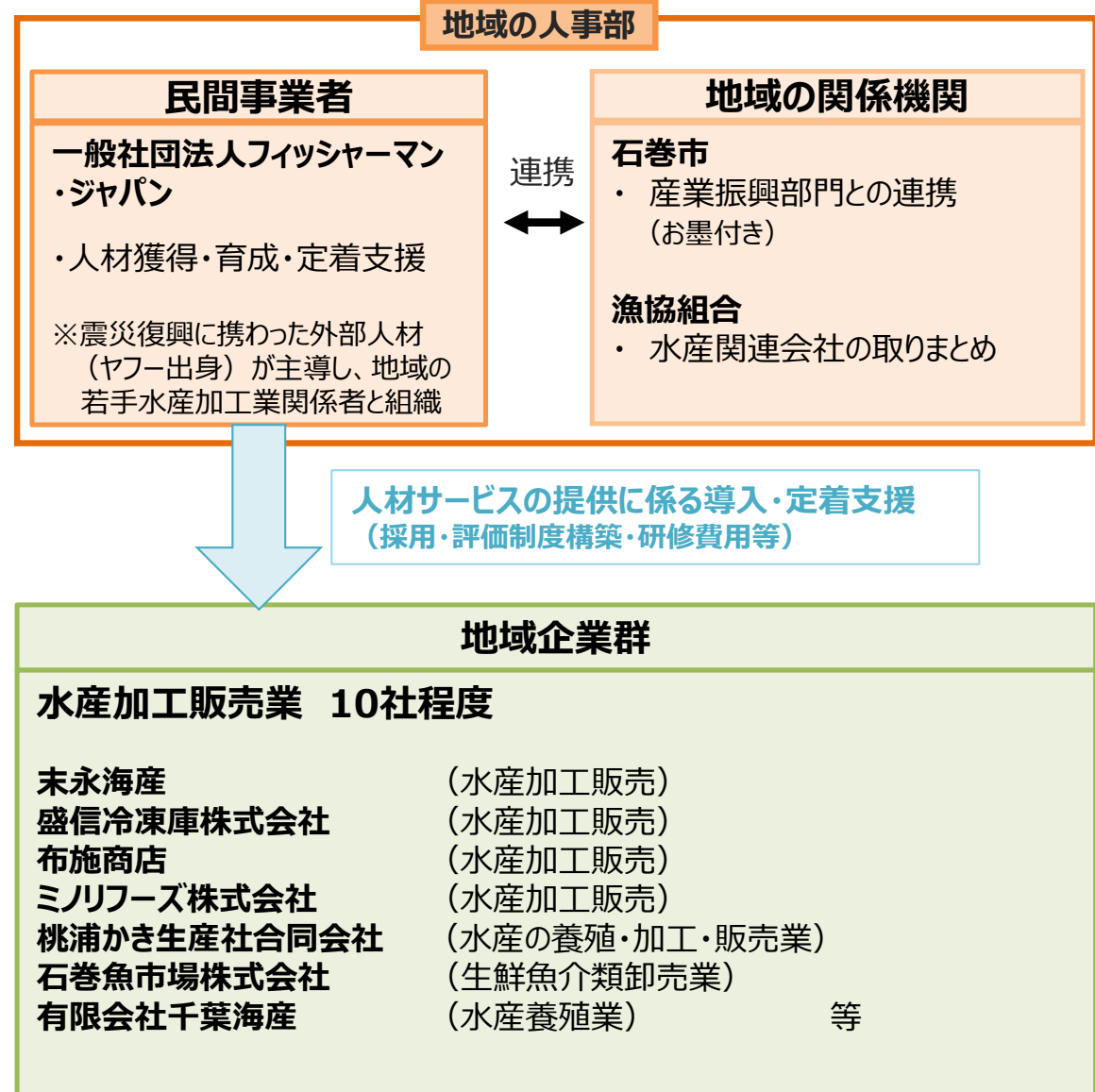
水産加工販売業に関する企業群

- 宮城県石巻市（人口14万人）では、水産加工販売業に関する企業群が合同で、水産加工販売業全体のブランディング向上、経営戦略に関わる経営人材の採用等の取組を実施。

<事業イメージ>

| | |
|----------------|---|
| 地域の目指す姿 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の主要産業である水産関連業の復活を目指した、地域単位での採用・育成 |
| 地域の課題 | <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化に加えて、震災により水産加工販売業の従事者は1998年から2018年で半減（4000人→2000人）。 今後の事業展開を担う社長の右腕人材が不足 |
| 事業例 | <p>【人材獲得】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社長の右腕候補人材の採用に向けた、地域企業群一体での広報戦略の策定 デジタルマーケティングの実施 ※“SeaEO人材”の募集HPの作成 (例) SeaMO（海のマーケティング責任者） SeaPO（海の経営企画責任者） 合同でのインターンの募集・受入 <p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合同での研修 <p>【人材定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業後の定住支援（シェアハウス提供） |

<事業スキーム>



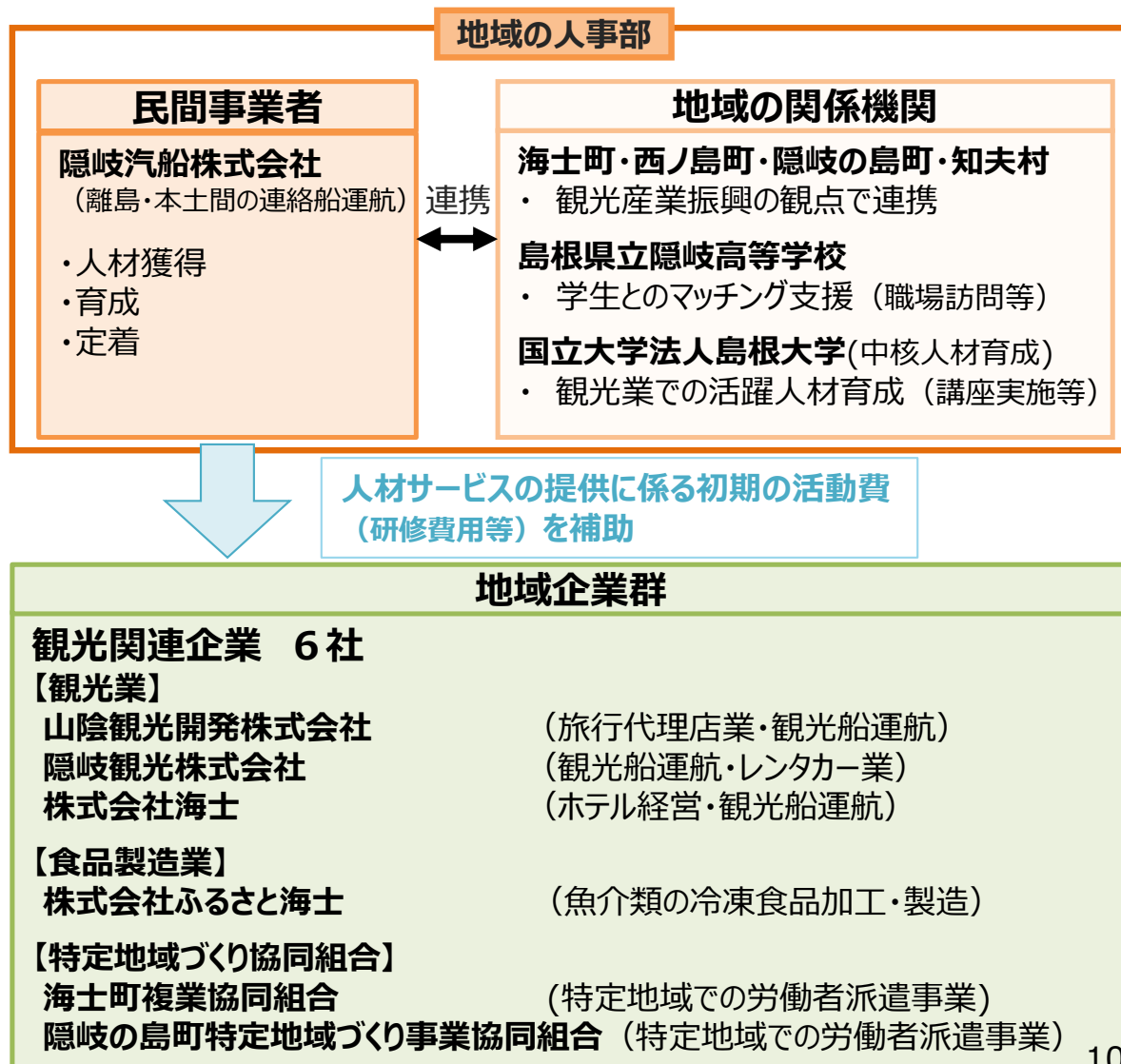
観光関連産業を有する企業群

- 島根県^{おき}隠岐諸島（2万人）では、離島4町村の観光関連企業群（観光業、食品製造業等）が合同で、高校・大学と連携した採用活動、首都圏への研修・出向による育成等を行う取組を実施。

<事業イメージ>

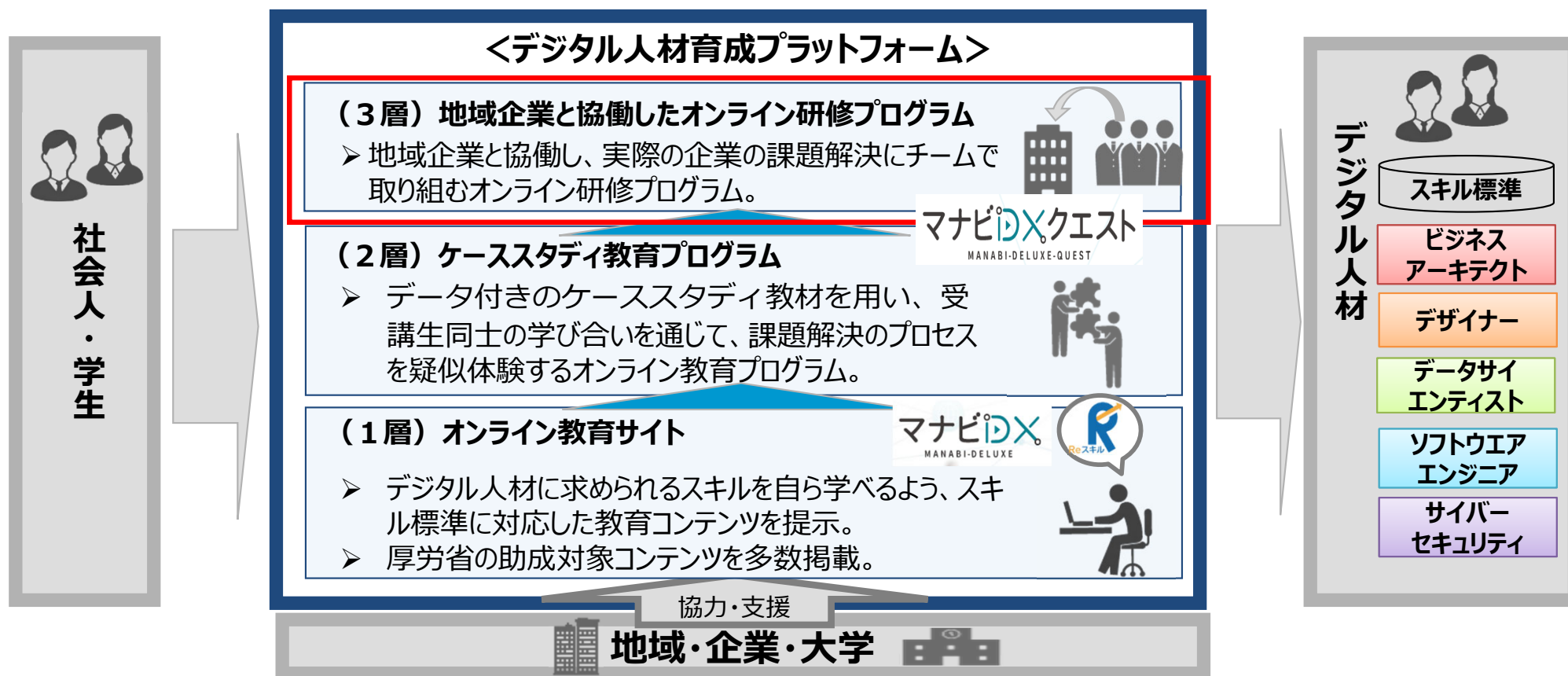
<事業スキーム>

| | |
|----------------|---|
| 地域の目指す姿 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐諸島における観光関連産業の振興・活性化。 |
| 地域の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>周遊プランを組めないほど観光人材が不足</u>。観光サービスの低下により、観光客も減少。 ・ <u>家族経営が多く、採用・育成が手薄</u>。若者人材の採用・定着まで手が回らない。 |
| 事業例 | <p>【人材獲得】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐諸島の観光関連企業群を取りまとめ、<u>合同説明会やオンライン面接等</u>を実施。 <p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏（日本橋）の<u>飲食付アンテナショップへの研修出向</u>による、マーケティング力等の向上。 <p>【人材定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>合同で、集合研修等</u>を行い、企業の枠を超えたコミュニケーションを促進。 |



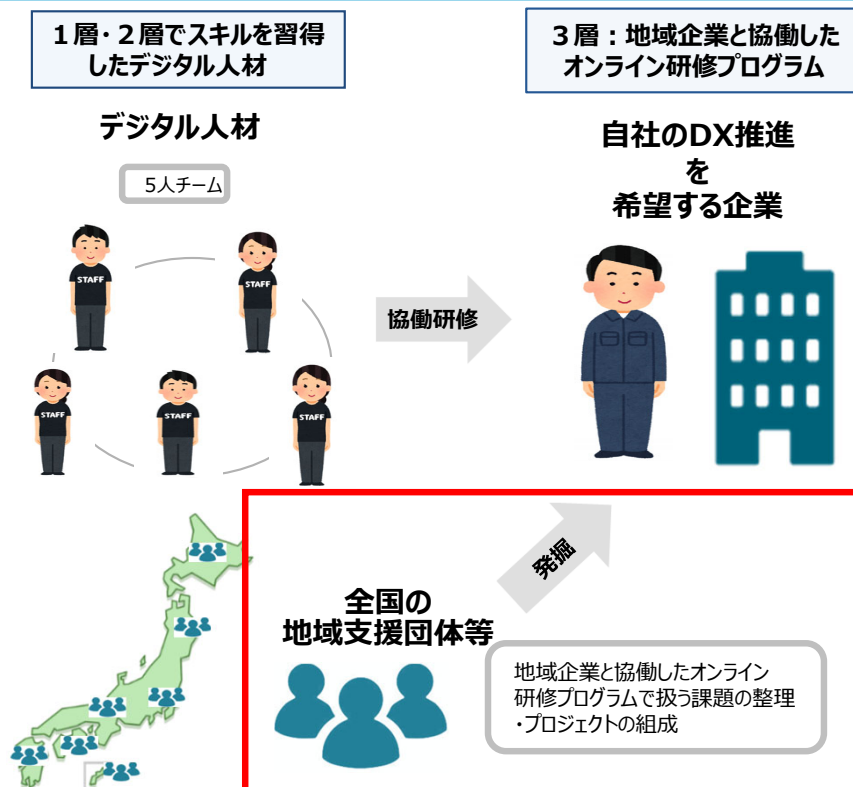
デジタル人材育成プラットフォーム

- デジタル田園都市国家構想の実現に向け、地域企業のDXを加速するために必要なデジタル人材を育成するプラットフォームを構築し、企業内人材（特にユーザー企業）のリスキルを推進。
- 最大の特徴は、教育コンテンツの集約・提示に加えて、民間市場には存在しないケーススタディ教育プログラムや地域企業と協働したオンライン研修プログラムを提供し、DXを推進する実践人材を一気通貫で育成。



3層：地域企業と協働したオンライン研修プログラム

- DX推進に課題を有する実際の中小企業等の参加を得て、受講生がチームとなって2カ月程度、**企業と協働し、デジタル技術の実装に取り組むオンライン研修プログラム**。
- プロジェクト設計やデジタル技術の能力のみならず、**当該企業社員との交渉や経営陣への提案等の経験を通じて、より実践的なDX推進能力を身に付ける**。
- **オンライン研修プログラムに参加する地域企業の発掘**をはじめ、地域で活動する支援団体等に当プログラムへご協力いただきたい。



(参考) 課題解決プロジェクトイメージ

| | 取組内容の概要 | 成果 |
|------------|---|--|
| 事例① 運輸業 | DXを活用した経理業務の効率化の構想検討 | 企業側での「ありたい姿」を実現するための実装案を受講生が提示、企業が実装することで、2日間の業務を数時間へ圧縮に成功 |
| 事例② 建設業 | 毎月の出来高請求に合わせて実行予算内での工事の進捗率や、利益幅の確認を迅速にできる体制を構築したい | 過去の赤字を行政との折衝に活用し、100万単位の赤字防止を見込むシステム構築を提案 |